

千葉県ヤングケアラーに関する
実態調査報告書

令和4年3月

千葉県

目 次

第1部 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象者	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収状況	1
6. 分析・表示について	1
第2部 調査結果報告	3
1. 小学生調査	3
I. 基本情報	3
(1) 性別	3
(2) 通っている学校の場所	3
(3) 家族構成	4
(4) 健康状態	5
II. ふだんの生活について	6
(1) 学校の通学状況	6
(2) 習い事の状況	6
(3) ふだんの学校生活等であてはまること	7
(4) 現在の悩みや困りごと	8
(5) 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無	8
III. 家庭や家族のことについて	9
(1) 世話をしている家族の有無	9
(2) 世話を必要としている家族の状況	9
(3) 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと	15
(4) 世話の大変さ	15
(5) 世話について相談した経験	16
(6) 世話についての相談相手	16
(7) 世話について相談した理由	17
(8) 世話について相談したことがない理由	17
(9) 世話について話を聞いてくれる人の有無	18
(10) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援	18
(11) 希望する相談の手段	19
(12) 我慢せず意見を言える環境の有無	19

IV. 小学生調査 追加分析	20
(1)世話をしている家族の有無	20
(2)世話をしている家族	23
(3)家族構成	24
V. 自由記述について	25
(1)相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	25
(2)子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	25
(3)学校におけるサポートや配慮	25
(4)周囲(大人や友達)の理解や寄り添い	26
(5)福祉サービスやボランティア等による支援	26
(6)経済的支援	26
(7)ヤングケアラーの普及啓発	26
(8)その他支援の充実(自分のための時間をつくってあげるなど)	26
(9)お世話をしている家族がいると回答した児童の声	27
2. 中高生調査	28
I. 基本情報	28
(1)学年	28
(2)性別	28
(3)通っている学校の場所	29
(4)家族構成	29
(5)健康状態	30
II. ふだんの生活について	31
(1)学校の通学状況	31
(2)部活動への参加状況	32
(3)ふだんの学校生活等であてはまること	32
(4)現在の悩みや困りごと	33
(5)悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無	34
III. 家庭や家族のことについて	35
(1)世話をしている家族の有無	35
(2)世話を必要としている家族の状況	35
(3)世話をしているために、やりたいけれどできていないこと	41
(4)世話のきつさ	42
(5)世話について相談した経験	42
(6)世話についての相談相手	43
(7)世話について相談した理由	44
(8)世話について相談したことがない理由	45
(9)世話について話を聞いてくれる人の有無	46
(10)学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援	47

(11)希望する相談の手段	48
IV. ヤングケアラーについて	49
(1)ヤングケアラーの自覚	49
(2)ヤングケアラーの認知度	49
(3)ヤングケアラーについて知ったきっかけ	50
(4)ヤングケアラーに対して必要なサポート	51
(5)我慢せず意見を言える環境	52
V. 中高生調査 追加分析	53
(1)世話をしている家族の有無	53
(2)世話をしている家族	57
(3)家族構成	59
VI. 自由記述について	60
(1)相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり	60
(2)子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重	60
(3)学校におけるサポートや配慮	61
(4)周囲(大人や友達)の理解や寄り添い	61
(5)福祉サービスやボランティア等による支援	61
(6)経済的支援	62
(7)ヤングケアラーの普及啓発	62
(8)ヤングケアラー同士の情報交換の場	62
(9)ヤングケアラーの実態を把握する取組	63
(10)その他支援の充実(自分のための時間をつくってあげるなど)	63
(11)ヤングケアラーに関する感想	63
(12)お世話をしている家族がいると回答した生徒からの声	64
3. 調査結果とりまとめ、考察など	65
(1)世話をしている家族の有無について	65
(2)世話の対象・内容等について	65
(3)世話の影響	66
(4)世話についての相談の状況・必要なサポート	66
(5)ヤングケアラーについて	67
第3部 調査依頼文・調査票	69
I. 保護者向け調査依頼文	69
II. 小学生向け調査依頼文	70
III. 中高生向け調査依頼文	71
IV. 小学生向け調査票	72
V. 中高生向け調査票	76

第 1 部 調査概要

第1部 調査概要

1. 調査の目的

学校や家庭での生活の中で抱える悩みや困りごとなどに対する設問を通じ、支援が必要と思われる児童生徒（ヤングケアラー）の状況を調査するとともに、今後それらを解決するために必要な支援策を検討するための基礎資料として、調査を実施した。

2. 調査対象者

千葉市立学校の小学5年、中学2年、高校1・2年の児童生徒

3. 調査方法

各学校を通じて児童生徒向け、保護者向けの調査依頼文を配布し、児童生徒本人が一人一台端末（ギガタブ）、パソコン、スマートフォン等で Web 上のアンケートフォームにアクセスし回答。また、筆記での回答を希望する児童生徒には、紙媒体の調査票と返信用封筒を学校から配布し、郵送による回収。

4. 調査期間

調査期間 令和4年1月24日（月）～2月7日（月）

5. 回収状況

対象	配布数	回収数	回収率
小学生調査（小学5年生）	7,879件	1,500件	19.0%
中高生調査	9,112件	1,477件	16.2%
中学2年生	7,675件	1,167件	15.2%
高校1・2年生	1,437件	294件	20.5%
※学年回答無し	—	16件	—
合計	16,991件	2,977件	17.5%

6. 分析・表示について

1. 比率は、小数点以下第2位を四捨五入している。このため比率が0.05未満の場合には0.0と表記している。また、合計が100.0%とならないこともある。
2. 複数回答の項目については、原則として、その項目に対しての有効回答者の数を基数とし、比率算出を行っている。このため、比率計が100%を超えることがある。
3. グラフ中の（n=〇〇）という表記は、その項目の有効回答者数で、比率算出の基礎となる。
4. クロス集計については、集計の都合上、無回答者を除いた集計となっている部分があるため、単純集計の結果と合致しない場合がある。

第 2 部 調查結果報告

第2部 調査結果報告

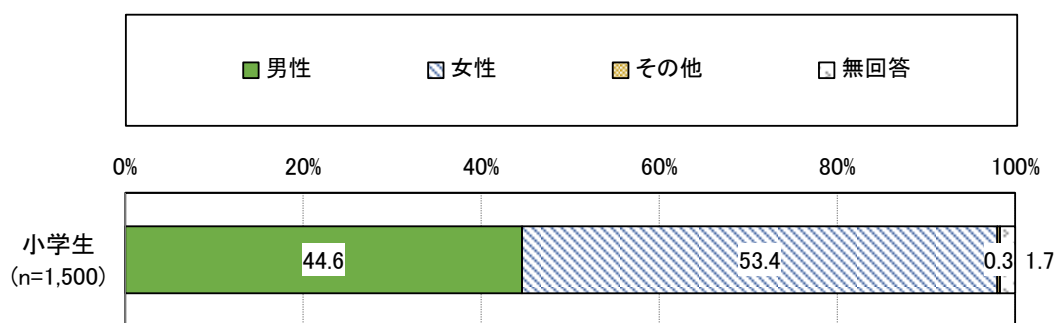
1. 小学生調査

I. 基本情報

(1) 性別

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

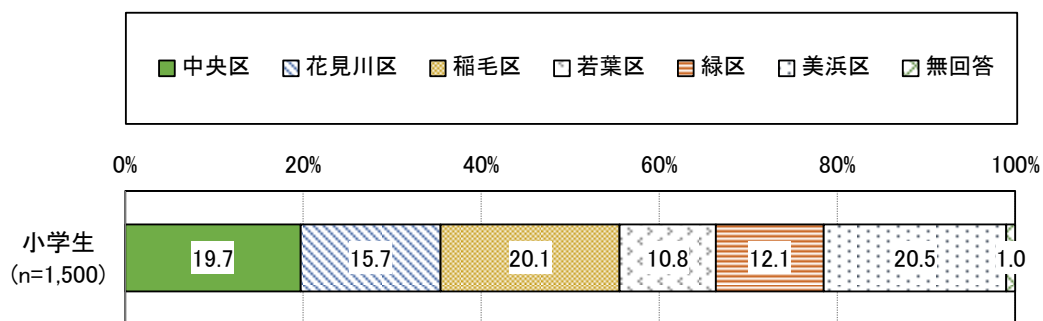
回答者の性別は、以下のとおり。



(2) 通っている学校の場所

問2 あなたが通っている学校はどちらにありますか。(あてはまる番号1つに○)

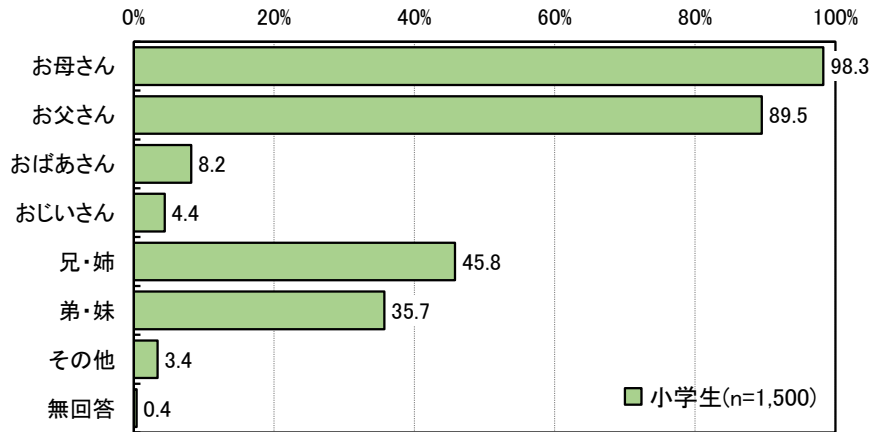
現在通っている学校の場所は以下のとおり。



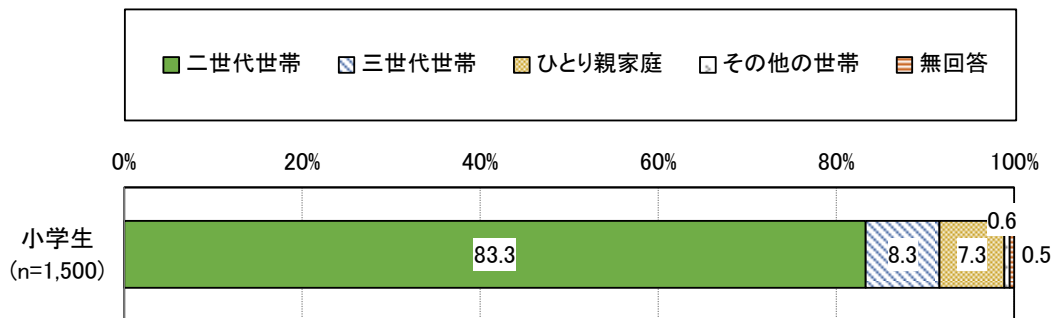
(3) 家族構成

問3 あなたと一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

同居する家族の内訳は、「お母さん」が最も高く、次いで「お父さん」、「兄・姉」、「弟・妹」、「おばあさん」などとなっている。



また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果は、「二世帯世帯」が最も高くなっている。

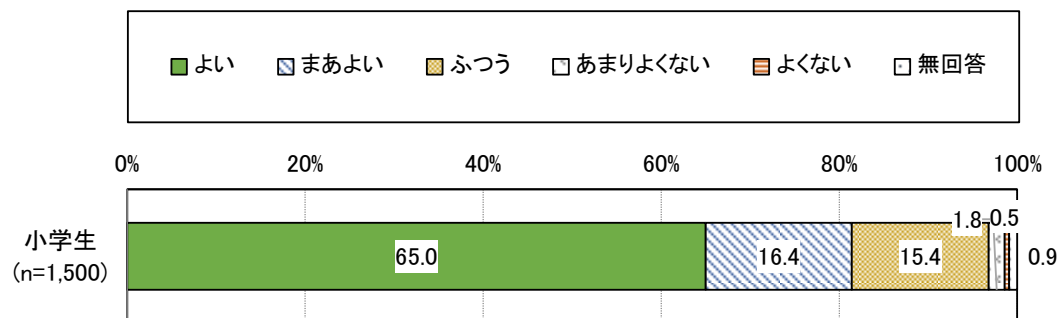


世帯	同居する家族
二世帯世帯	お母さん、お父さん、兄・姉、弟・妹、その他（ペットなど）
三世帯世帯	お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄・姉、弟・妹、その他（親戚、ペットなど）
ひとり親家庭	お母さん/お父さんのいずれか、兄・姉、弟・妹、その他（親戚、ペットなど）
その他の世帯	おばあさん、おじいさん、その他（親戚、施設など）

(4) 健康状態

問4 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

健康状態は、「よい」、「まあよい」と回答した人を合計すると81.4%となっている。



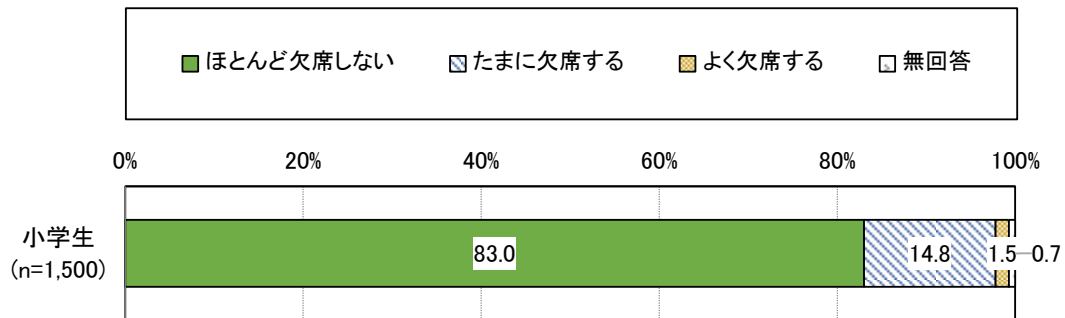
Ⅱ. ふだんの生活について

(1) 学校の通学状況

問5 あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。

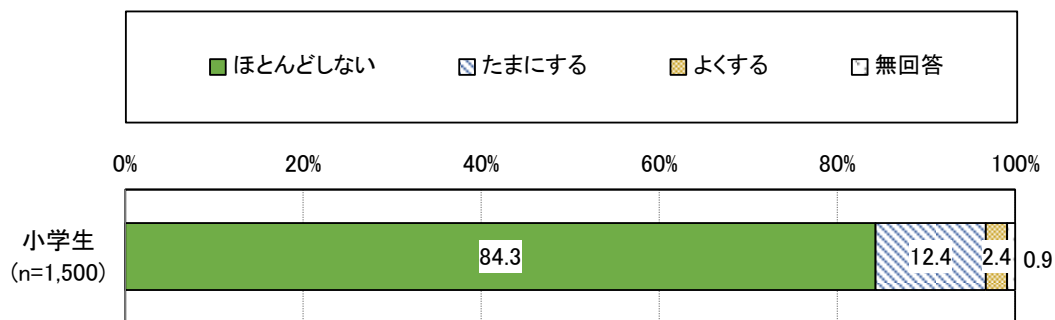
①欠席について（あてはまる番号1つに○）

学校の出席状況は、「ほとんど欠席しない」が83.0%と最も高くなっている。



②遅刻や早退について（あてはまる番号1つに○）

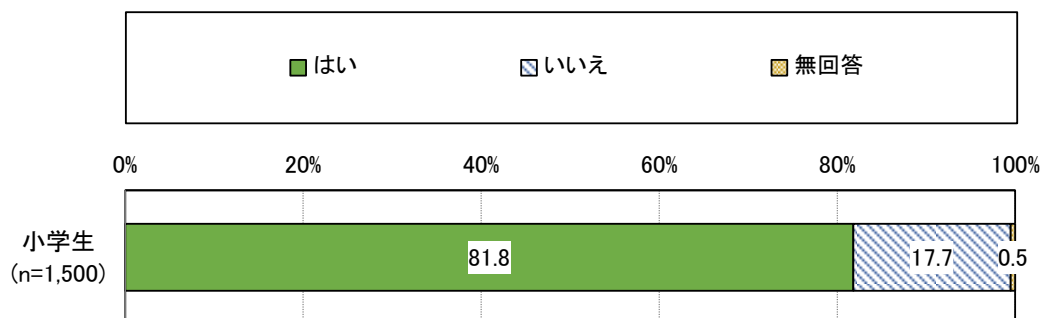
遅刻や早退は、「ほとんどしない」が84.3%と最も高くなっている。



(2) 習い事の状況

問6 放課後、習い事などを行っていますか。（あてはまる番号1つに○）

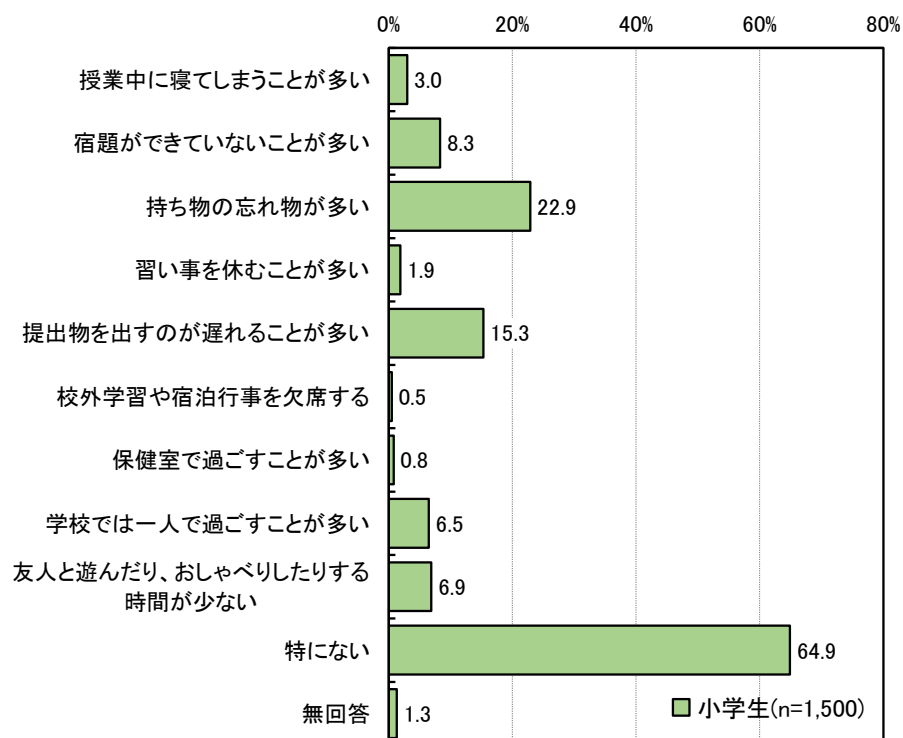
81.8%が習い事などを行っているとは回答している。



(3) ふだんの学校生活等であてはまること

問7 ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

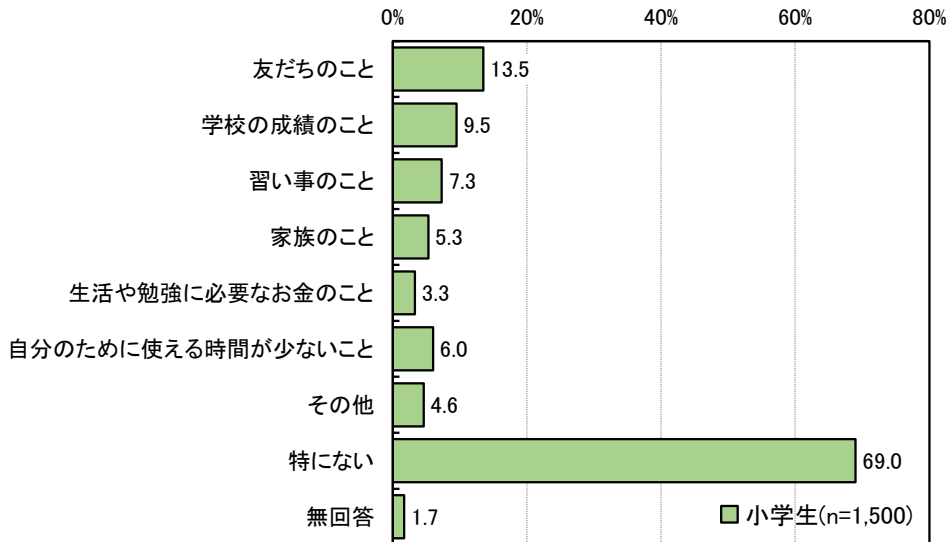
ふだんの学校生活等であてはまることについては、「特にない」が最も高くなっているが、その他では、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」などが他に比べ高くなっている。



(4) 現在の悩みや困りごと

問8 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

現在の悩みや困りごとについては、「特にない」が最も高くなっているが、その他では、「友だちのこと」、「学校の成績のこと」などが他に比べ高くなっている。

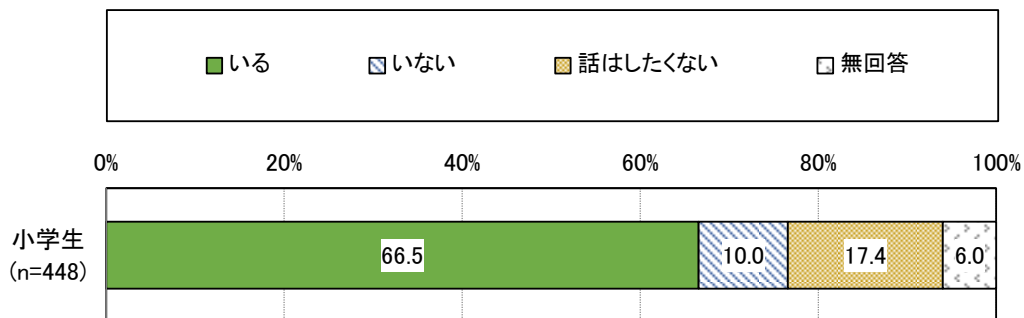


(5) 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

問8で「1. ~7.」のどれかに○をつけた人にお聞きします。

問9 ○をつけた悩みについて、話を聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「いる」が66.5%となっている。



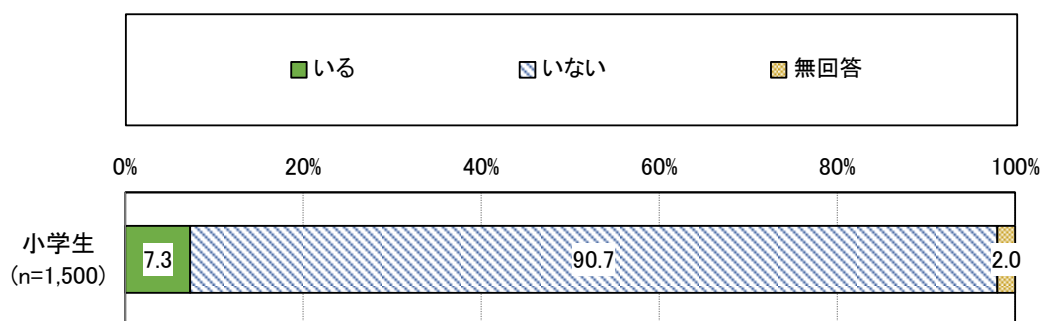
Ⅲ. 家庭や家族のことについて

(1) 世話をしている家族の有無

問10 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

※ここでの「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話のことです。

自分がお世話をしている家族がいると回答した人の割合は、7.3% (109人) となっている。



※犬や猫などのペットと回答した人は除く。

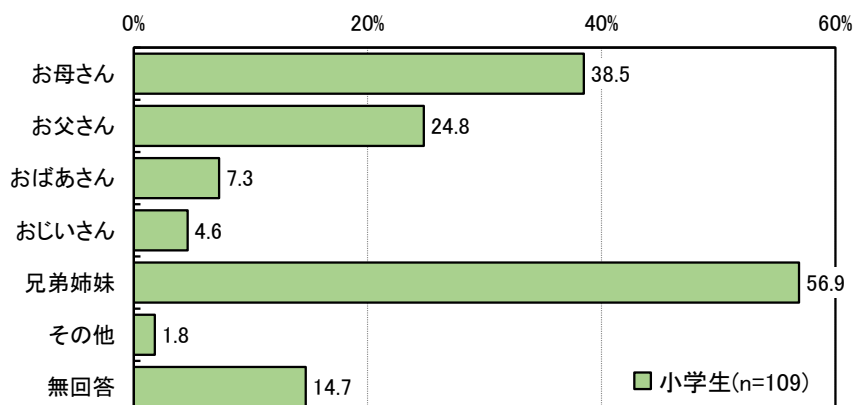
(2) 世話を必要としている家族の状況

問10で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

問11 あなたは誰に、どのようなお世話をしていますか。

①あなたが世話をしている人(あてはまる番号すべてに○)

世話を必要としている家族については、「兄弟姉妹」が最も高く、次いで「お母さん」、「お父さん」となっている。

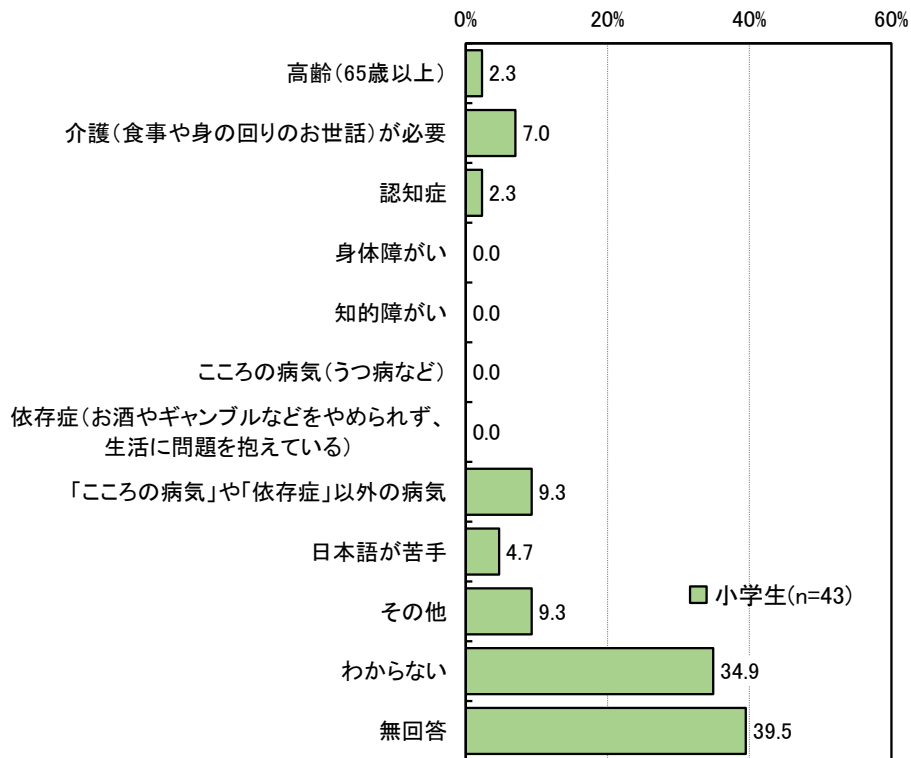


②お世話を必要としている人の状況について教えてください。

②-1 お母さんやお父さんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

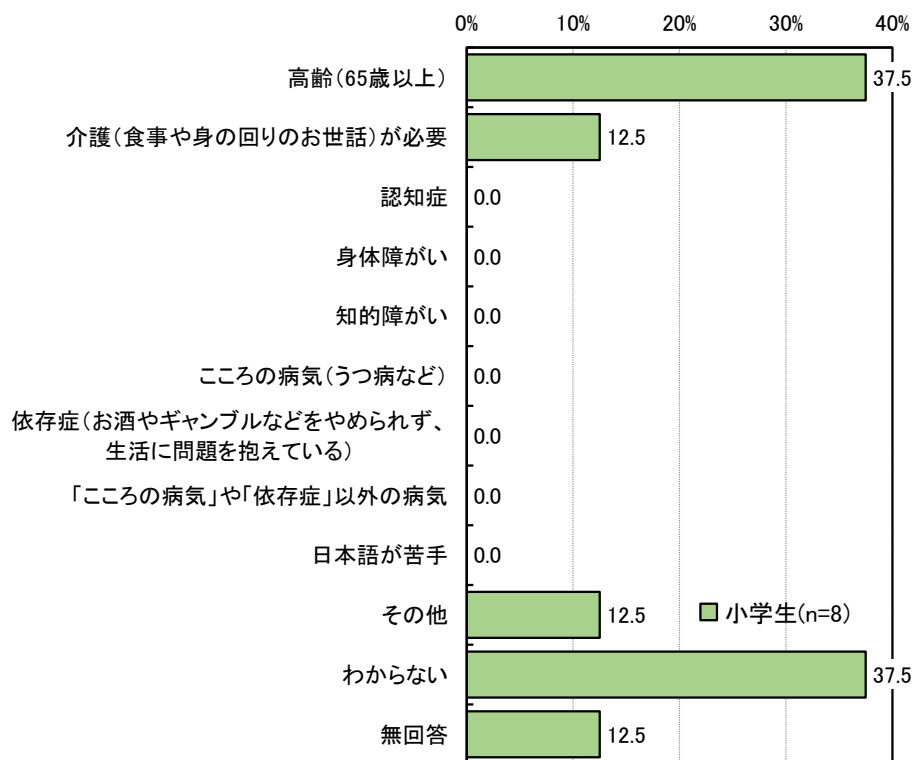
世話を必要としている父母の状況については、回答した人のうち、「わからない」が最も高くなっているが、その他では「「こころの病気」や「依存症」以外の病気」、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」、「日本語が苦手」などが他に比べ高くなっている。



②-2 おばあさんやおじいさんのお世話をしているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

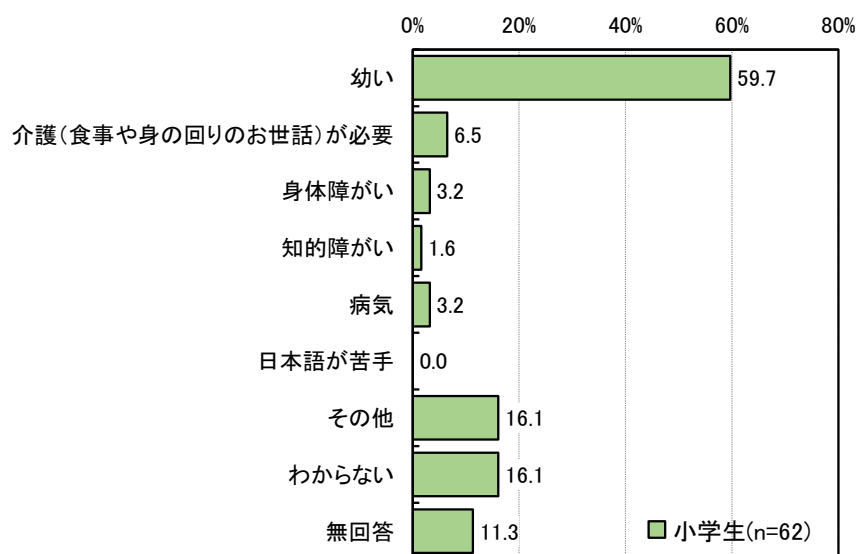
世話を必要としている祖父母の状況については、回答した人のうち、「わからない」が最も高くなっているが、その他では「高齢（65歳以上）」、「介護（食事や身の回りのお世話）が必要」などが高くなっている。



②-3 兄弟姉妹のお世話をしているのはどのような理由ですか。

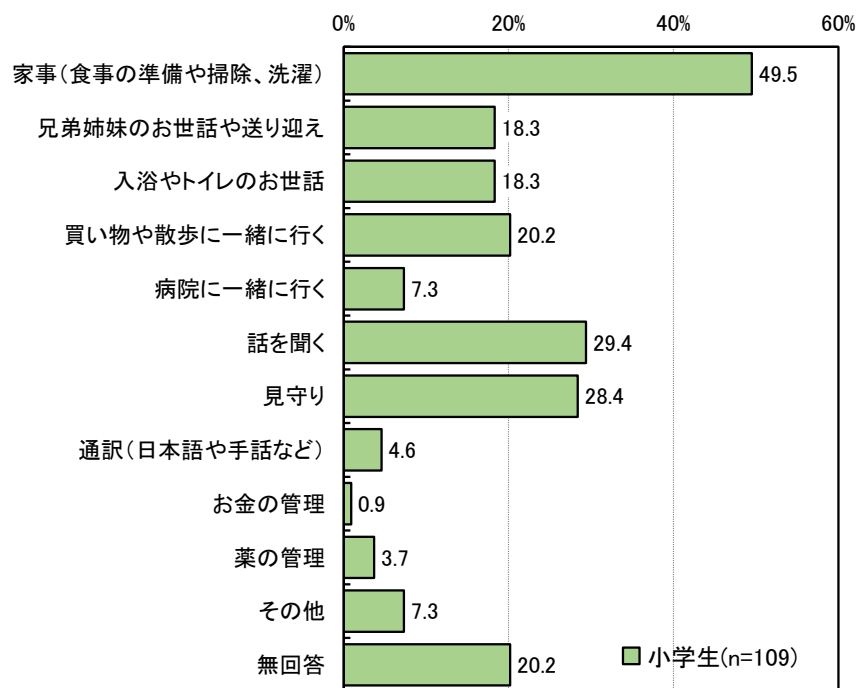
(あてはまる番号すべてに○)

世話を必要としている兄弟姉妹の状況については「若い」が最も高くなっている。



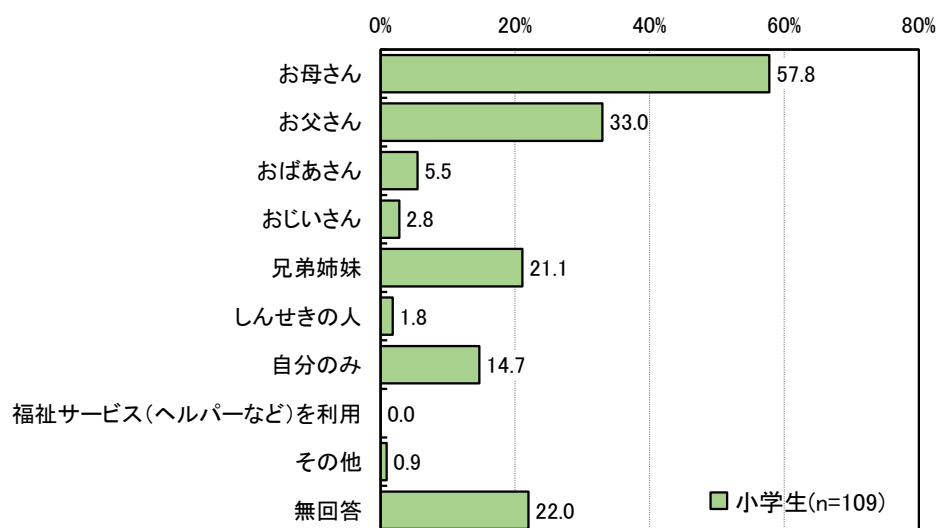
③あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

世話の内容については、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高く、次いで「話を聞く」、「見守り」、「買い物や散歩と一緒にいく」、「兄弟姉妹のお世話や送り迎え」、「入浴やトイレのお世話」などとなっている。



④あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

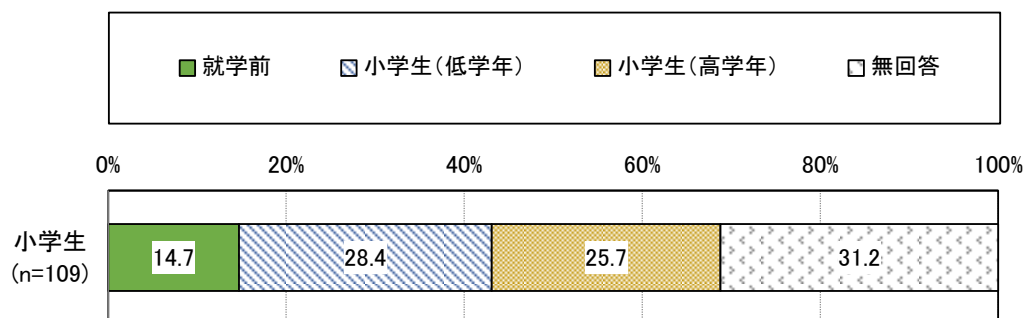
世話を一緒にしている人については、「お母さん」が最も高く、次いで「お父さん」、「兄弟姉妹」、「おばあさん」などとなっている。一方で、「自分のみ」と回答した人が14.7%となっている。



⑤あなたは何才からお世話をしていますか。

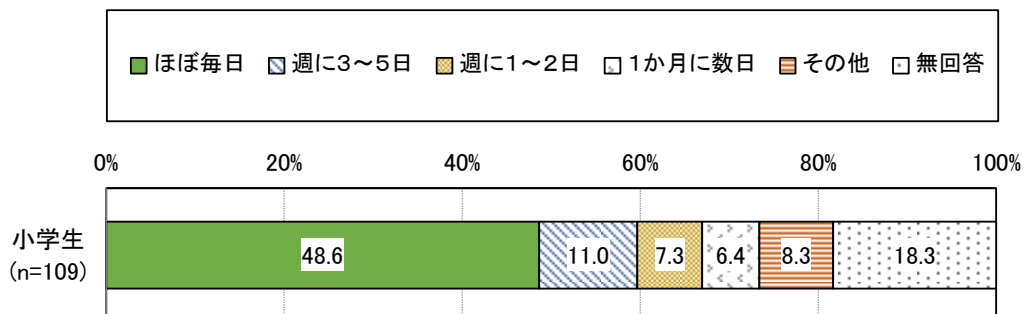
世話を始めた年齢については、平均7.3歳となっている。

世話を始めた年齢をカテゴリー化すると、「小学生(低学年)」が最も高く、次いで「小学生(高学年)」、「就学前」となっている。



⑥あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

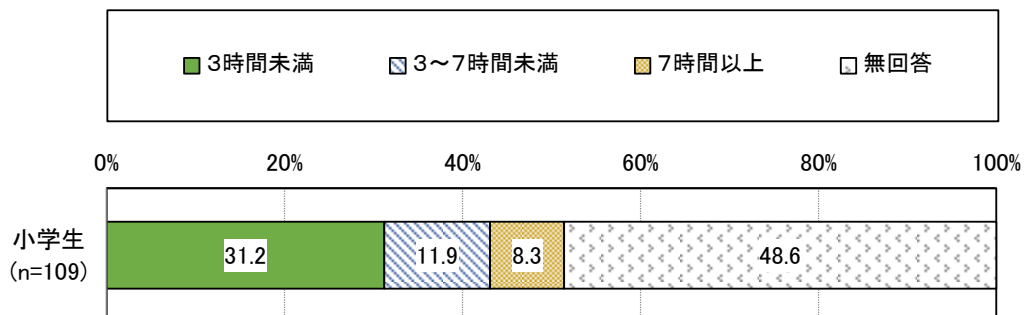
世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が最も高くなっている。



⑦あなたは平日何時間くらいお世話をしていますか。(日によって違う場合は、この1か月でいちばん長かった日の時間を教えてください)

平日1日あたりに世話に費やす時間については、平均3.4時間となっている。

平日1日あたりに世話に費やす時間をカテゴリー化すると、「3時間未満」が最も高くなっている。

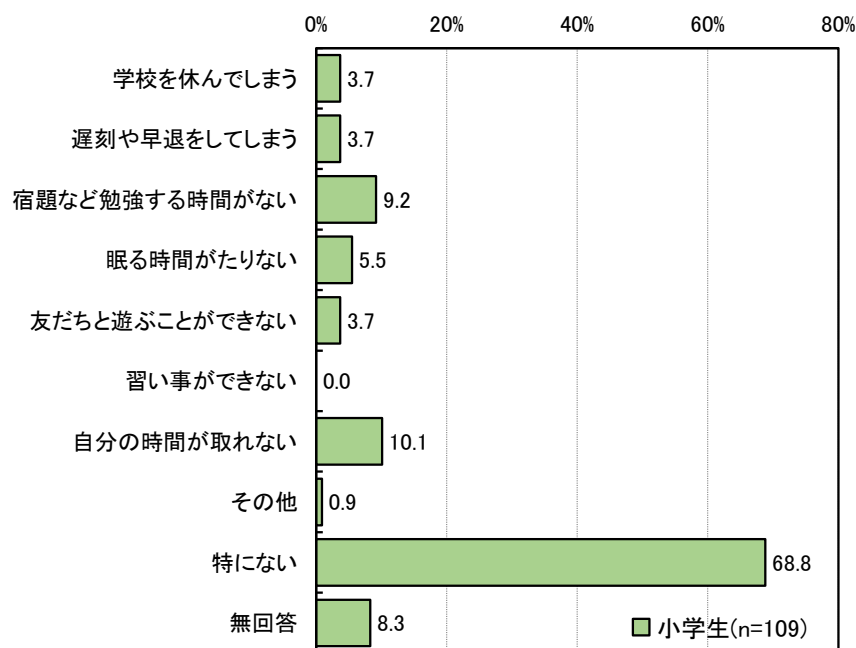


(3) 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

問 12 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

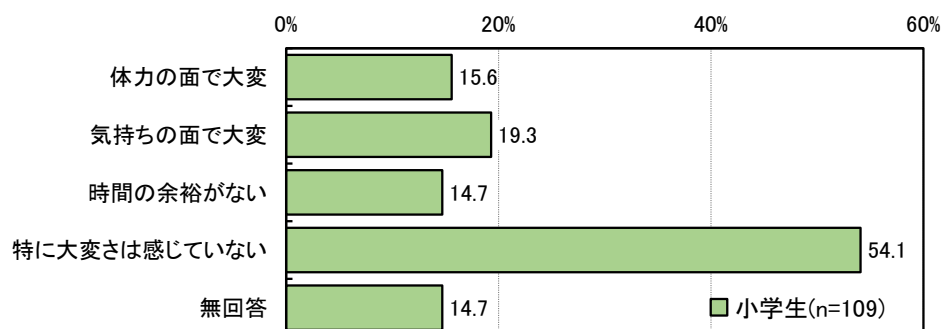
世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特にない」が最も高くなっているが、その他では、「自分の時間が取れない」が10.1%、「宿題など勉強する時間がない」が9.2%となっている。



(4) 世話の大変さ

問 13 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

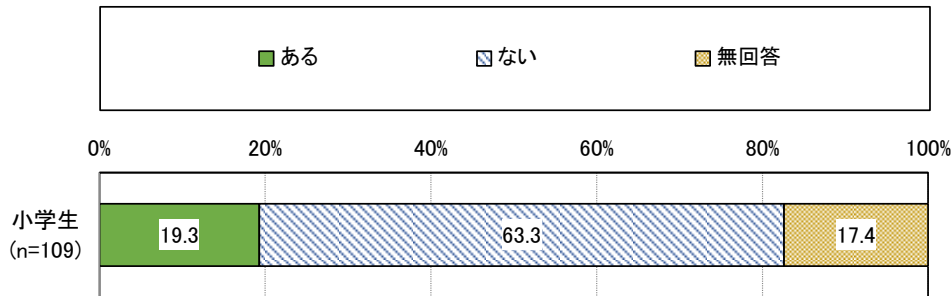
世話をすることを感じている大変さについては、「特に大変さは感じていない」が最も高くなっているが、その他では、「気持ちの面で大変」が19.3%、「体力の面で大変」が15.6%、「時間の余裕がない」が14.7%となっている。



(5) 世話について相談した経験

問 14 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

世話について相談した経験は、「ある」が19.3%、「ない」が63.3%となっている。

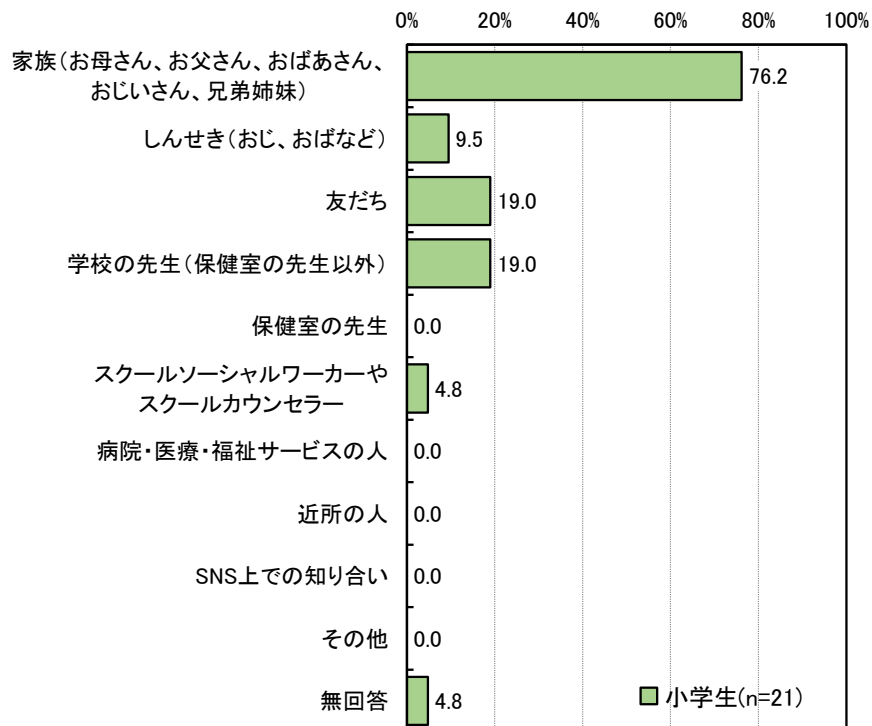


(6) 世話についての相談相手

問 14 で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

問 15 それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、世話についての相談相手を聞いたところ、「家族（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹）」が76.2%と最も高くなっており、次いで「友だち」、「学校の先生（保健室の先生以外）」19.0%となっている。

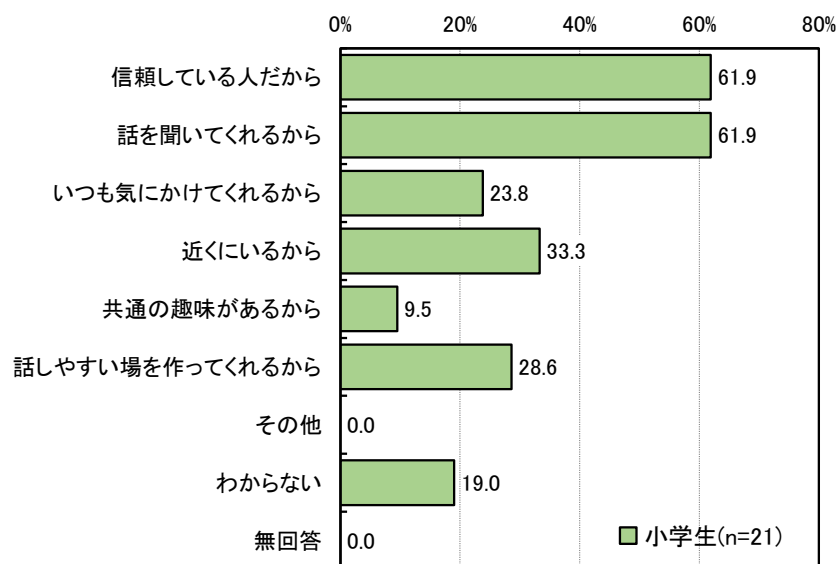


(7) 世話について相談した理由

問14で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

問16 なぜ相談しようとおもいましたか。(あてはまる番号すべてに○)

世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「信頼している人だから」、「話を聞いてくれるから」が最も高くなっている。

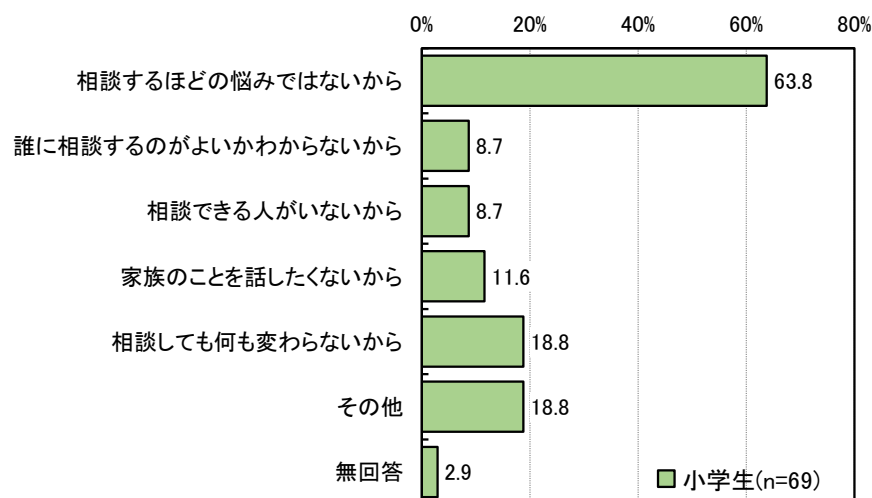


(8) 世話について相談したことがない理由

問14で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

問17 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「相談するほどの悩みではないから」が最も高くなっているが、その他では「相談しても何も変わらないから」が高くなっている。

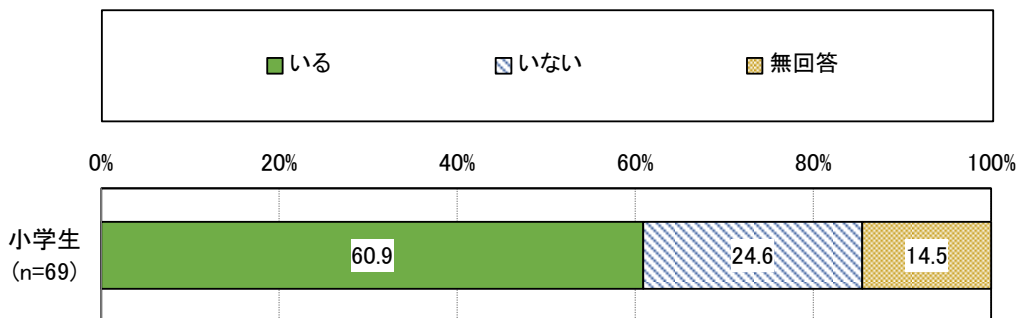


(9) 世話について話を聞いてくれる人の有無

問 14 で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

問 18 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。
(あてはまる番号1つに○)

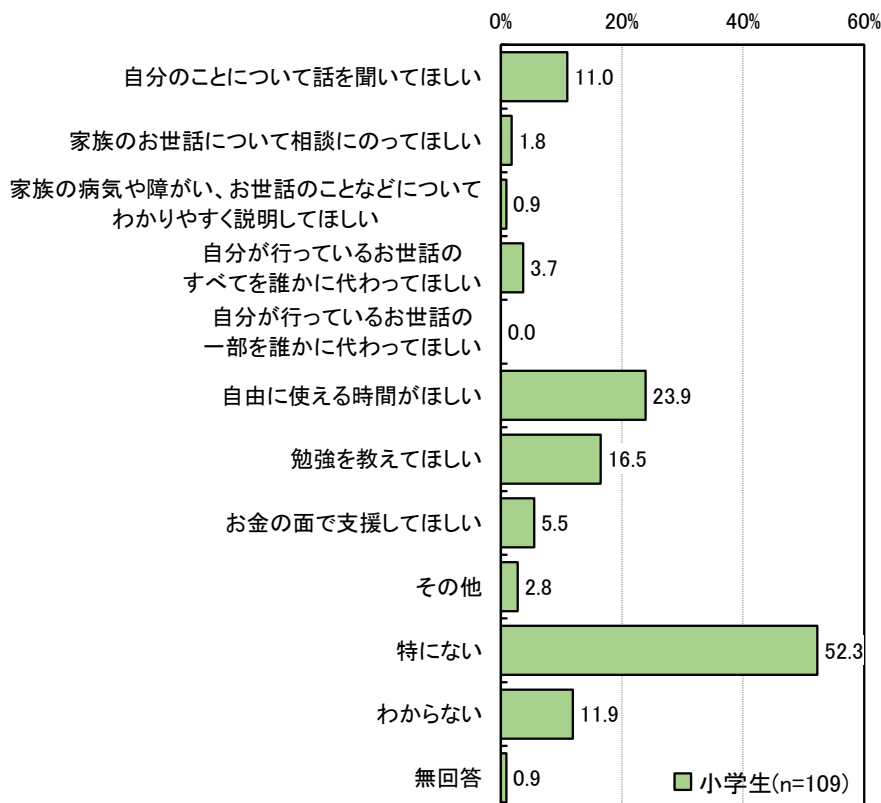
世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、「いる」が60.9%となっている。



(10) 学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援

問 19 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、「特にない」が52.3%で最も高くなっているが、その他では、「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」、「自分のことについて話を聞いてほしい」が他に比べ高くなっている。



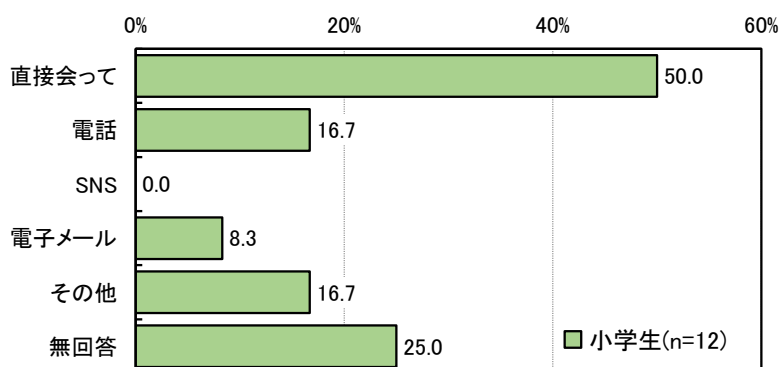
(11) 希望する相談の手段

問 19 で「1. 自分のことについて話を聞いてほしい」「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。

問 20 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。

(あてはまる番号すべてに○)

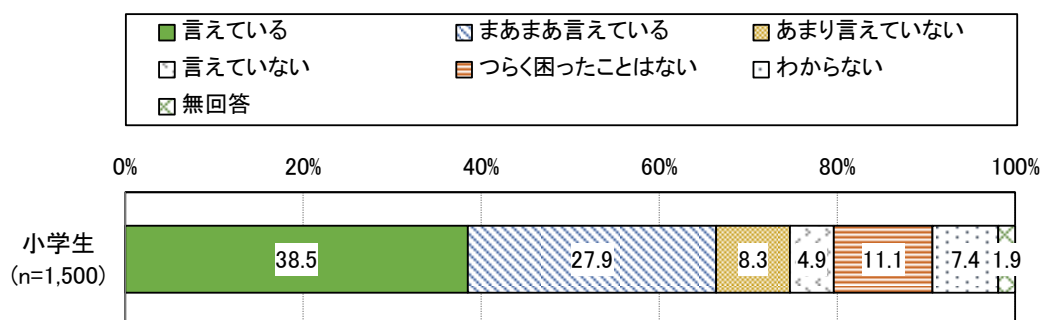
問 19 で「自分のことについて話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談の手段を聞いたところ、「直接会って」が最も高くなっている。



(12) 我慢せず意見を言える環境の有無

問 21 子どもの権利条約では自分に関係のあることについて、自分の意見を表す権利があるとされています。あなたがつらく困った時には、家族や先生、友だちなどに、我慢せずにあなたの意見を言えていますか。(あてはまる番号1つに○)

つらく困った時には、家族や先生、友人などに、我慢せずに意見を言えているか聞いたところ、「言えている」、「まあまあ言えている」と回答した人が合計で 66.4% となっている。

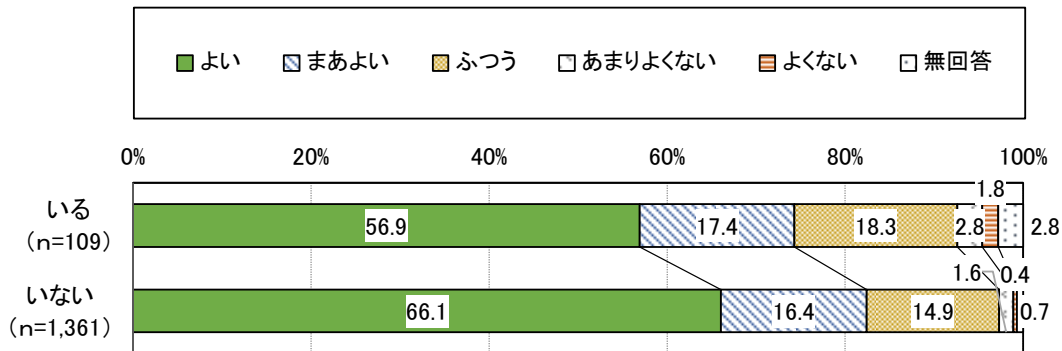


IV. 小学生調査 追加分析

(1) 世話をしている家族の有無

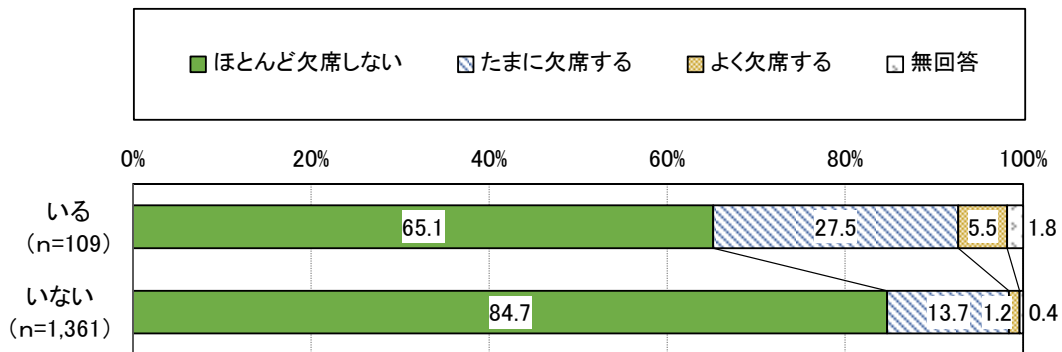
【世話をしている家族の有無 × 健康状態】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「よい」と回答した割合は低くなっている。



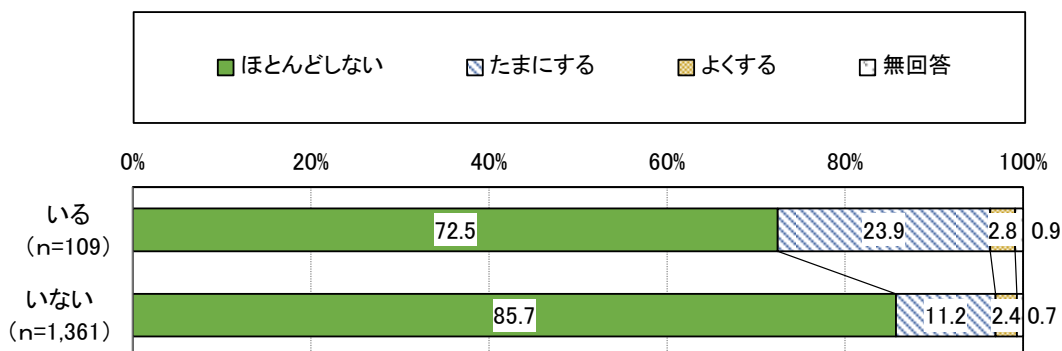
【世話をしている家族の有無 × 出席の状況】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまに欠席する」、「よく欠席する」の割合が高くなっている。



【世話をしている家族の有無 × 遅刻や早退の状況】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」の割合が高くなっている。



【世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活等であてはまること】

世話をしている家族がいる場合、「特にない」と回答した人の割合が低くなっている。

世話をしている家族がいる場合、いない場合ともに、「持ち物の忘れ物が多い」、「提出物を出すのが遅れることが多い」、「宿題ができていないことが多い」と回答した割合が他に比べて高くなっているが、世話をしている家族がいる場合の方が、割合が高くなっている。

	合計 (人)	授業中に寝てしまうことが多い	宿題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	習い事を休むことが多い	提出物を出すのが遅れることが多い	校外学習や宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では一人で過ごすことが多い	友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない	特にない	無回答
全体	1,500	3.0	8.3	22.9	1.9	15.3	0.5	0.8	6.5	6.9	64.9	1.3
いる	109	8.3	18.3	33.9	1.8	22.9	0.9	0.9	8.3	10.1	53.2	0.0
いない	1,361	2.6	7.4	22.0	1.9	14.7	0.4	0.7	6.1	6.4	65.9	1.4

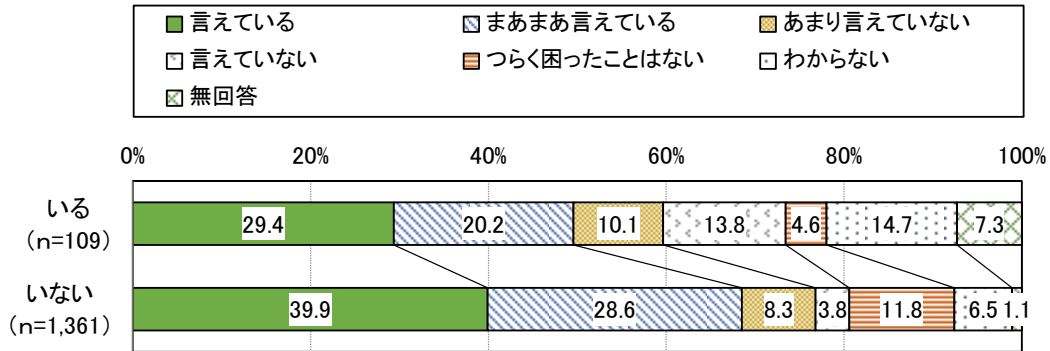
【世話をしている家族の有無×現在の悩みや困りごと】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「特にない」と回答した人の割合が低い一方、「学校の成績のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」、「家族のこと」と回答した割合が他に比べ高くなっている。

	合計 (人)	友だち のこと	学校の 成績の こと	習い 事の こと	家 族の こと	お 金 の こ と	生 活 の こ と	時 間 が 少 な い こ と	自 分 の た め に 使 え る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
全体	1,500	13.5	9.5	7.3	5.3	3.3	6.0	4.6	69.0	1.7		
いる	109	18.3	18.3	11.0	15.6	8.3	17.4	8.3	52.3	0.9		
いない	1,361	12.8	8.6	6.7	4.2	2.7	4.9	4.3	70.7	1.8		

【世話をしている家族の有無×我慢せず意見を言える環境】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「言えていない」と回答した人の割合が高く、「つらく困ったことはない」と回答した人の割合が低くなっている。



(2) 世話をしている家族

【世話をしている家族×世話の内容】

世話の内容については、世話を必要としている家族が「父母」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高くなっている。

「祖父母」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「話を聞く」が高くなっている。

「兄弟姉妹」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」、「話を聞く」が高くなっている。

	合計 (人)	家事 (食事の 準備や 掃除、 洗濯)	兄弟 姉妹の お世話 や送り 迎え	入浴 やトイレ のお世 話	買物 や散歩 に一緒 に行く	病院に 一緒 に行く	話を 聞く	見守 り	通訳 (日本語 や手話 など)	お金の 管理	薬の 管理	その他	無回 答
全体	109	49.5	18.3	18.3	20.2	7.3	29.4	28.4	4.6	0.9	3.7	7.3	20.2
父母	43	58.1	2.3	11.6	20.9	16.3	20.9	14.0	4.7	0.0	7.0	9.3	25.6
祖父母	8	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5
兄弟姉妹	62	45.2	32.3	24.2	27.4	4.8	41.9	43.5	6.5	0.0	1.6	8.1	9.7
その他	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

(3) 家族構成

【家族構成×世話をしている家族】

家族構成別で世話を必要としている家族をみると、二世帯世帯は「兄弟姉妹」、ひとり親家庭では「父母」が最も高くなっており、三世帯世帯は「祖父母」、「兄弟姉妹」が高くなっている。

	合計 (人)	父母	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	109	39.4	7.3	56.9	1.8	14.7
二世帯世帯	84	39.3	4.8	61.9	0.0	11.9
三世帯世帯	8	12.5	25.0	25.0	12.5	50.0
ひとり親家庭	14	57.1	14.3	42.9	7.1	7.1
その他の世帯	2	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

【家族構成×世話の内容】

家族構成別で世話の内容をみると、二世帯世帯、ひとり親世帯で「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」が最も高く、次いで、二世帯世帯では「見守り」、ひとり親世帯では「話を聞く」が高くなっている。

また、三世帯世帯では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「話を聞く」が最も高くなっている。

	合計 (人)	家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	兄弟姉妹のお世話や送り迎え	入浴やトイレのお世話	買い物や散歩に一緒にいく	病院に一緒にいく	話を聞く	見守り	通訳 (日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	109	49.5	18.3	18.3	20.2	7.3	29.4	28.4	4.6	0.9	3.7	7.3	20.2
二世帯世帯	84	47.6	21.4	19.0	19.0	6.0	26.2	31.0	2.4	0.0	0.0	7.1	20.2
三世帯世帯	8	37.5	0.0	12.5	25.0	0.0	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	50.0
ひとり親家庭	14	64.3	14.3	21.4	28.6	21.4	42.9	28.6	14.3	0.0	21.4	7.1	7.1
その他の世帯	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0

V. 自由記述について

家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてもらいたいことを自由に書いてください。

以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している。

(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・気軽に相談できる人や周りの人の手が必要だと思う。必要だと思うことが無理、できない場合は学校や周りの大人がお世話をしている本人に大人にしかできないことや少しでも役に立つような工夫を本人に教えてあげる、またはやってあげるというようなことをしてあげてほしいです。
- ・相談しづらい子も、安心して相談できる所が、必要だと思う。
- ・メールやSNSなどで時間や場所に関係なく相談できる場所があるといいと思います。
- ・定期的なアンケート・学校などにすぐに相談できるような環境を作る。

(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・SOSを自分から発信することを理解してもらおう環境（周りの人に助けてと言える人間関係）
- ・お世話をしている子に、悩みを打ち解けやすいような環境を作ってあげたり、元気のない子に「どうしたの」と話しかけてあげる。
- ・状況を伝える手段がもっと身近にあったらいいな！と思った。
- ・子どもの意見を尊重してほしい。
- ・他の人が気づいて助けることや、お世話をしている人が自分から言えればいいと思います。

(3) 学校におけるサポートや配慮

- ・周りの友達のお母さんに頼ったり、学校に相談したりする。定期的に先生が様子を見に行ったりする。
- ・各学校に一人でも悩みを相談できるスクールカウンセラーがいるようにしてほしい。場所をいきやすくしてほしい。
- ・家族のお世話している子には、担任の先生に事情を知ってもらい、家族が寝込んでしまったりした時に助けてあげることが必要だと思います。
- ・「いつもの調子となにか違うな」と少しでも思ったら、その子に「何かあった」と優しく声をかけて悩みなどを聞いてあげる。
- ・もっと児童と先生が一对一で話せる回数を増やしてほしい。

(4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い

- ・もし、困っている子どもがいたら積極的に声をかければ良いと思う。
- ・なかなか相談も出来ず、もしかしたら自分がヤングケアラーだと自覚している人も少ないと思う。なので、気づいた周りの大人達が、まずは学校の先生に相談し、担任だけでなく、カウンセラーの先生なども交え、本人に話を聞く、また家庭訪問するなどをして、なるべく早期に状況を把握し、専門機関に相談するなどして欲しい。
- ・家族のお世話をしている人のために、気づいてあげられる範囲は気づいてあげて、悩みとかも、聞いてあげたいし、アドバイスとかもできる時はしてあげたいです。
- ・声をかけてあげる

(5) 福祉サービスやボランティア等による支援

- ・家族のお世話をしている子をサポートしてくれる大人がいたら、いいと思います。
- ・家政婦さんのような人が助けてあげれば良いと思う。障がい、高齢者のサービス、雇用の確保。
- ・市や地域のサポートサービスのような手助けがあれば良いと思います。
- ・家族の世話をしている子どものために、代わりに手伝ってあげるとか介護できる人を世話をしている家庭に付けてあげたりしたらいいと思う。
- ・自ら助けを求めて、介護職員に来てもらう。学校内のヤングケアラーの有無を把握して、協力体制を整える。

(6) 経済的支援

- ・お手伝いさんが必要だと思う。給付金を子どもたちに与える。
- ・家族をお世話をしている人のために金を送ったほうが良いと思う。
- ・ヤングケアラーへの給付金

(7) ヤングケアラーの普及啓発

- ・授業の時に、そういう、お話などを聞いたり、知ってもらうことが大切だと思います。
- ・ヤングケアラーについてもっと話をする機会を増やす。

(8) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）

- ・お世話は、必要だと思うけど、自分の権利を確かめないといけないと思う。
- ・1人の時間も大事だと思う。
- ・自分自身の時間が必要だと思います。周りの大人たちがもっと手伝ってあげたらいいと思います。
- ・お世話をしている子どもに勉強をさせてあげたい。
- ・ずっと家族の事に時間をつかわなければならない子どものために出来ることは、少しでも誰かに頼ったり、打ち明けられることを打ち明けて、「その子のためだけ」の、時間をとってあげるなど。

(9) お世話をしている家族がいると回答した児童の声

- ・心のケア
- ・家族やお世話になってる人に優しくしてあげたい。
- ・家族や学校、周りに言いにくい場合もあるので、1人で悩まないように気をつけたい。 家族、先生以外で話せる人がいたらいい。
- ・心配してほしい。
- ・自分の好きなことを一緒にやってほしい
- ・お金をもらいたい
- ・子どもに優しくできる、お金のない子どもがいない世界
- ・もっとお世話をしたい

2. 中高生調査

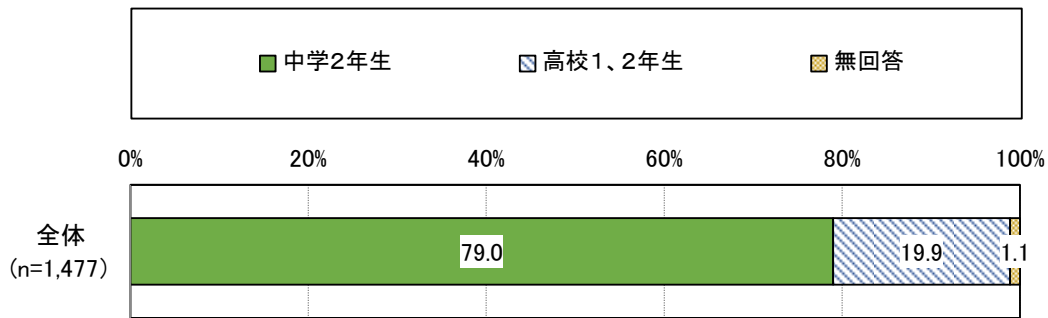
※特に「中学生」、「高校1、2年生」と指定していない場合は、全体について説明している。

I. 基本情報

(1) 学年

問1 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

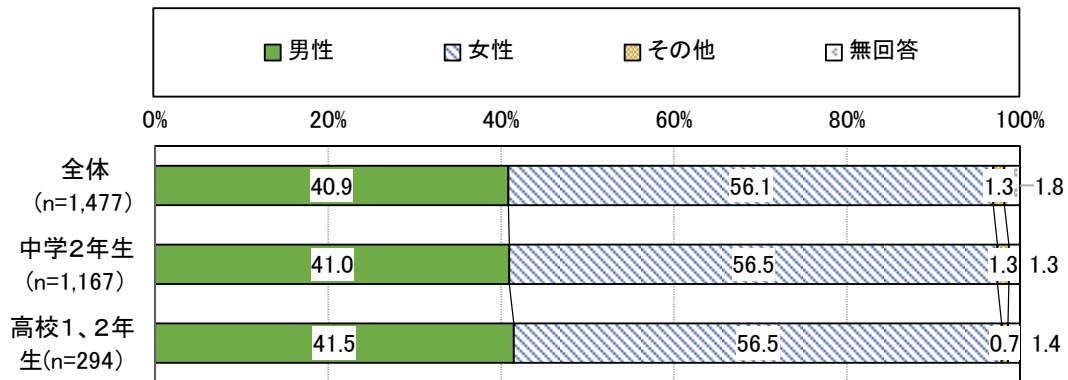
回答者の学年は、以下のとおり。



(2) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

回答者の性別は、以下のとおり。

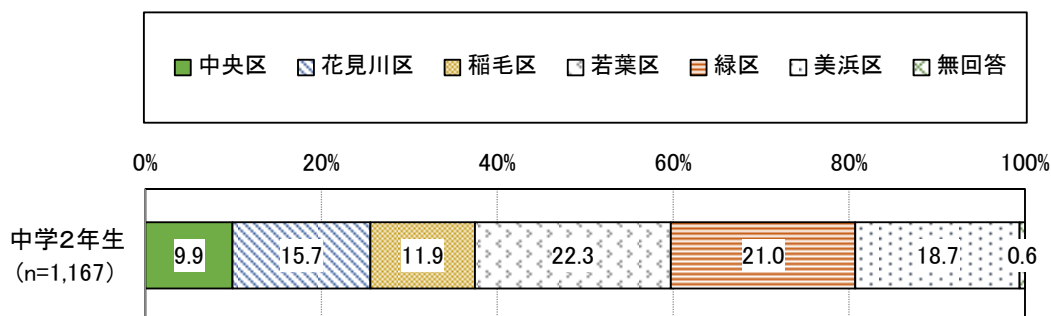


(3) 通っている学校の場所

問1で「1. 中学2年生」と回答した方にお聞きします。

問3 現在通っている学校はどちらにありますか。(あてはまる番号1つに○)

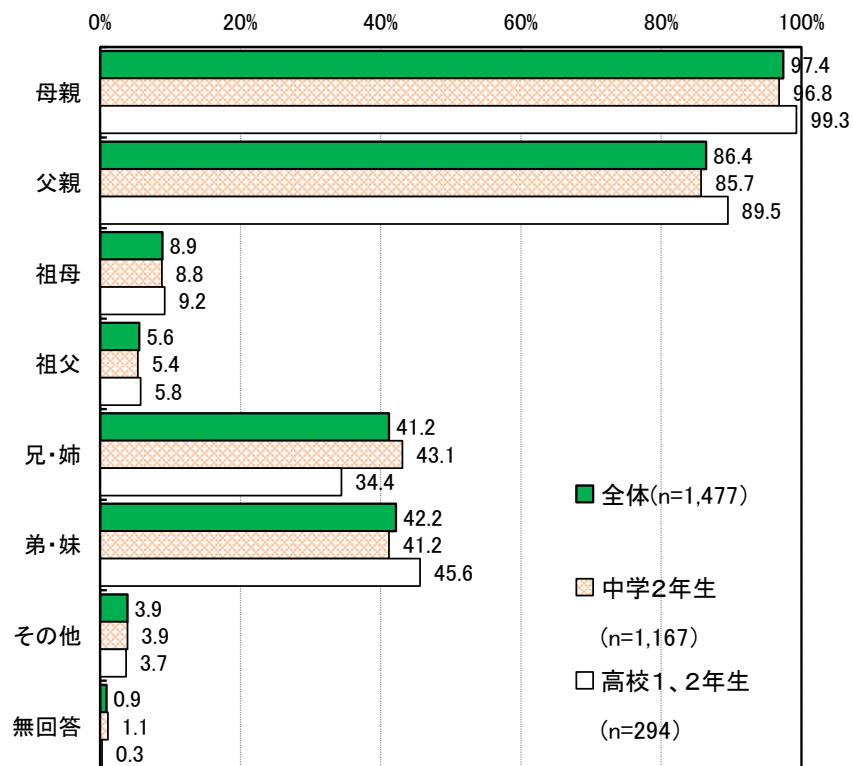
現在通っている学校の場所は以下のとおり。



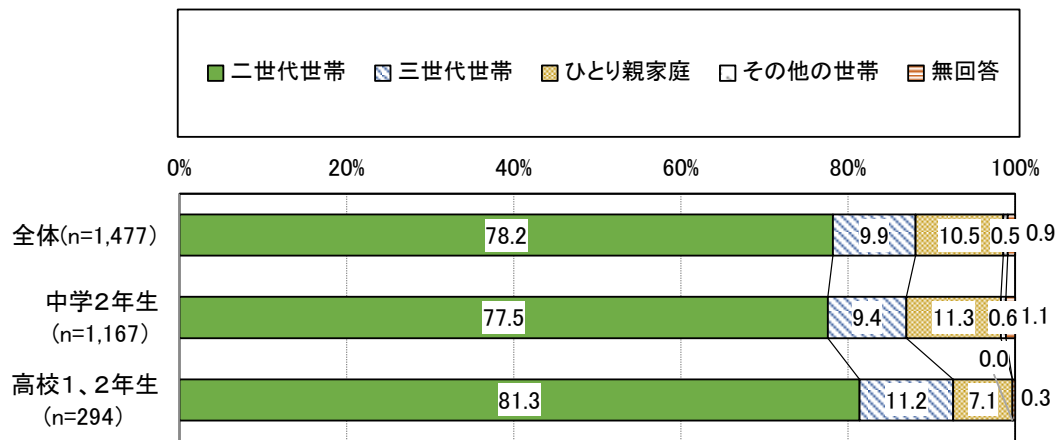
(4) 家族構成

問4 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

同居する家族の内訳は、「母親」が最も高く、次いで「父親」、「弟・妹」、「兄・姉」となっている。



また、同居する家族の内訳を家族構成で整理した結果は、「二世帯世帯」が最も高くなっている。

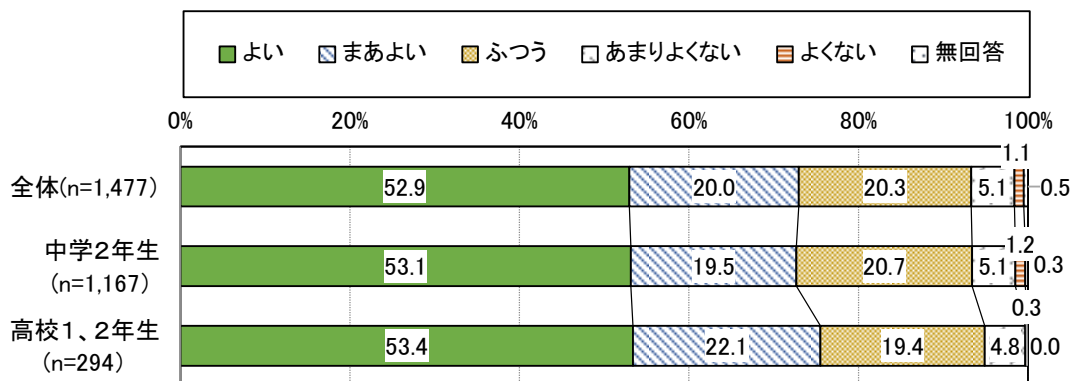


世帯	同居する家族
二世帯世帯	母親、父親、兄・姉、弟・妹、その他（ペットなど）
三世帯世帯	母親、父親、祖母、祖父、兄・姉、弟・妹、その他（親戚、ペットなど）
ひとり親家庭	母親/父親のいずれか、兄・姉、弟・妹、その他（親戚、ペットなど）
その他の世帯	祖母、祖父、その他（親戚、施設など）

（5）健康状態

問5 あなたの健康状態について教えてください。（あてはまる番号1つに○）

健康状態は、「よい」、「まあよい」と回答した人を合計すると72.9%となっている。



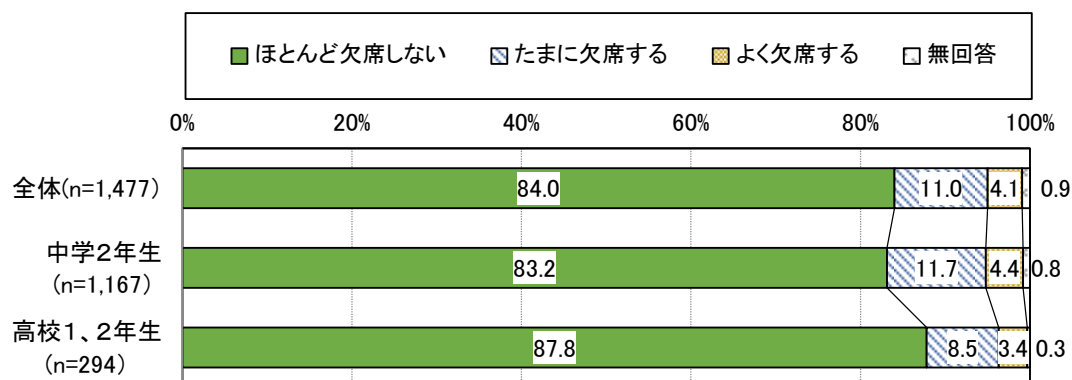
Ⅱ. ふだんの生活について

(1) 学校の通学状況

問6 学校への通学状況等について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

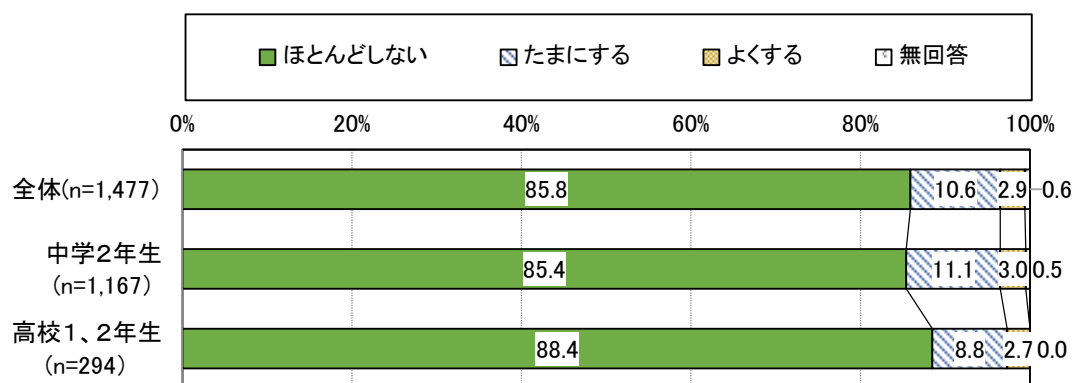
①出席状況

学校の出席状況は、「ほとんど欠席しない」が最も高くなっている。



②遅刻や早退の状況

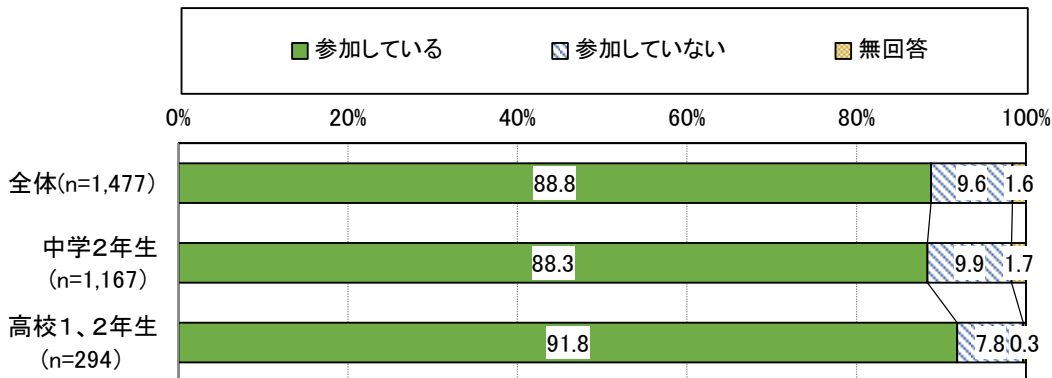
学校の遅刻や早退の状況は、「ほとんどしない」が最も高くなっている。



(2) 部活動への参加状況

問7 部活動（学校外での活動を含む）に参加していますか。（あてはまる番号1つに○）

部活動への参加状況は、「参加している」が88.8%となっている。

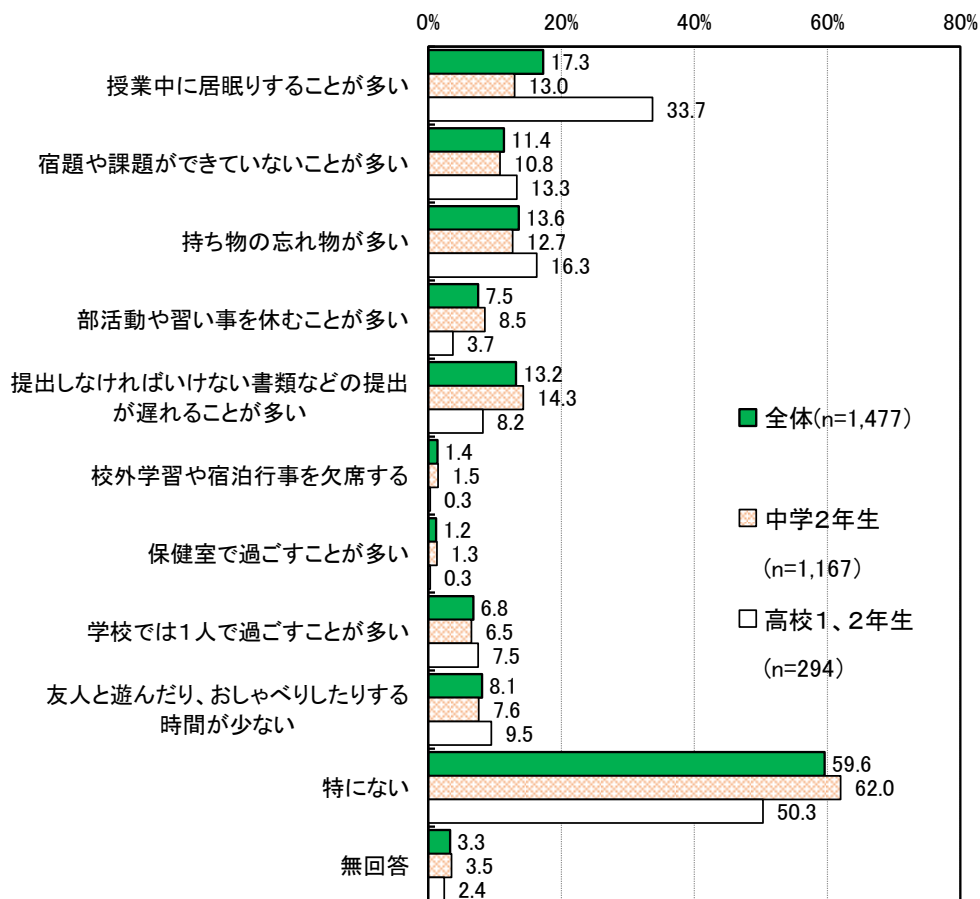


(3) ふだんの学校生活等であてはまること

問8 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

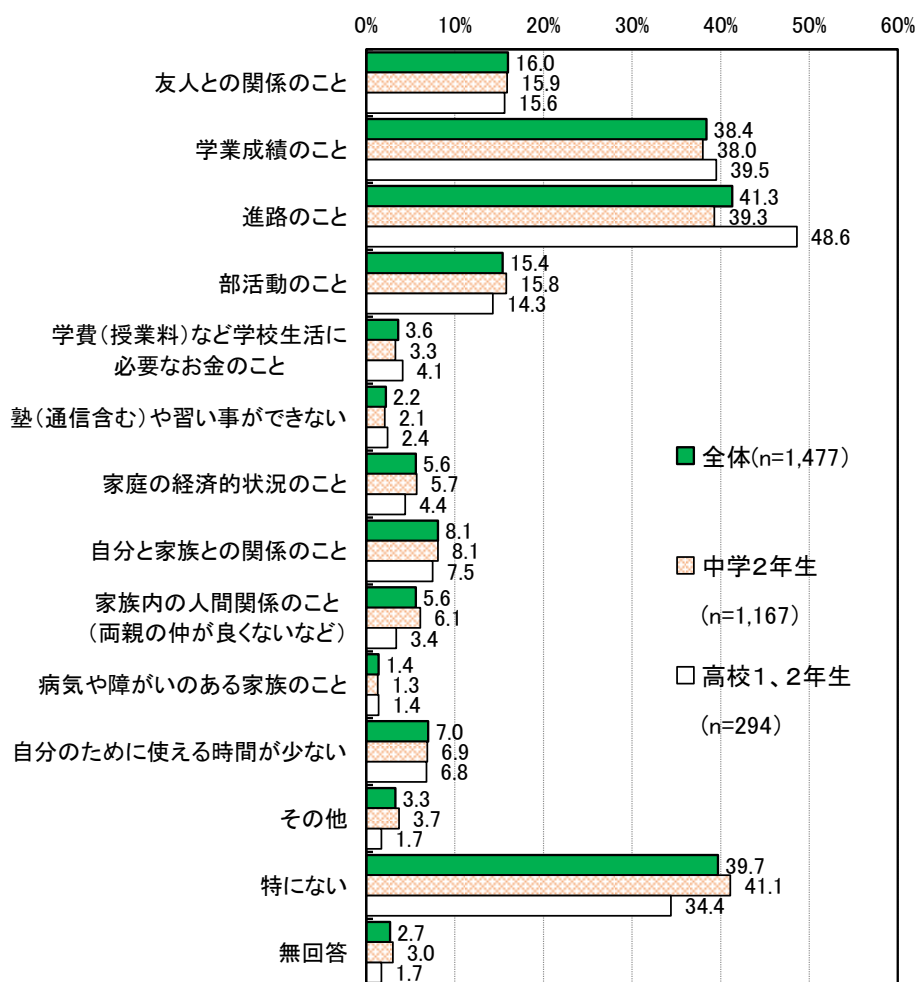
ふだんの学校生活等であてはまることについては、「特にない」が最も高くなっているが、その他では、「授業中に居眠りすることが多い」が他に比べ高くなっている。



(4) 現在の悩みや困りごと

問9 現在、悩んだり困ったりしていることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

現在の悩みや困りごとについては、「進路のこと」が最も高く、次いで、「特にない」、「学業成績のこと」となっている。

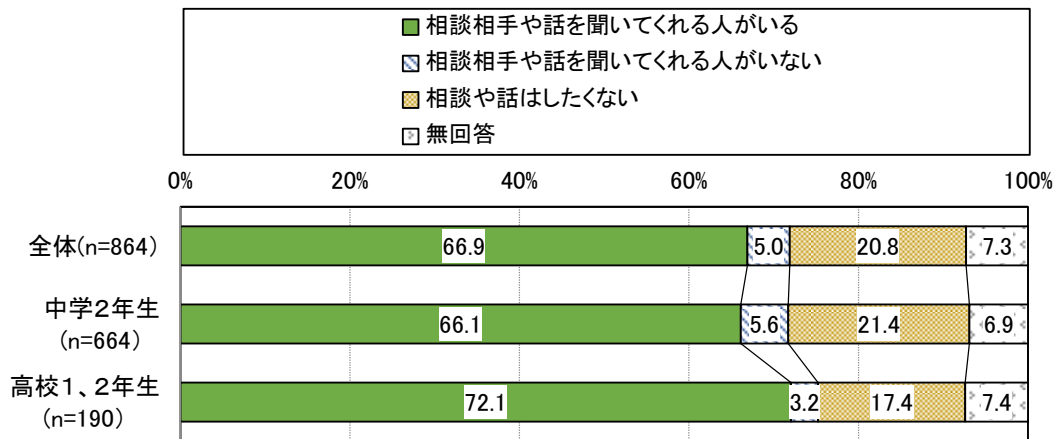


(5) 悩みや困りごとの相談相手・話を聞いてくれる人の有無

問9で「1. ~12.」のいずれかを回答した方にお聞きします。

問10 回答した悩みや困りごとについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いたりしてくれる人がいますか。(あてはまる番号1つに○)

何らかの悩みや困りごとがあると回答した人に、相談相手・話を聞いてくれる人の有無について聞いたところ、「相談相手や話を聞いてくれる人がいる」が最も高くなっている一方、「相談や話はしたくない」と回答した人の割合が20.8%となっている。



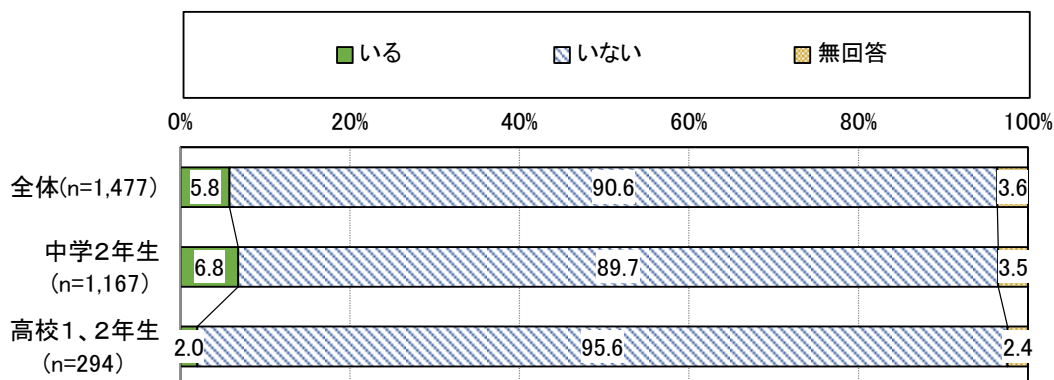
Ⅲ. 家庭や家族のことについて

(1) 世話をしている家族の有無

問 11 家族の中にあなたが世話をしている人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

※この質問での「お世話」とは、本来大人が行うと思われる家事や家族の世話などです。

自分が世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、中学2年生で6.8% (79人)、高校1、2年生で2.0% (6人) となっている。



※学年無回答者のうち、1人が「いる」と回答している。
 ※犬や猫などのペットと回答した人は除く。

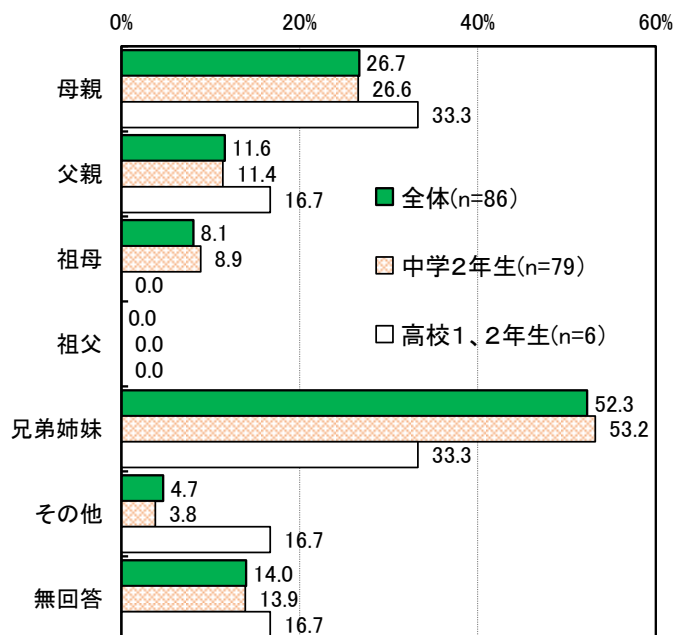
(2) 世話を必要としている家族の状況

問 11 で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

問 12 お世話の状況について教えてください。お世話を必要としている方が複数いる場合はすべての方についてお答えください。

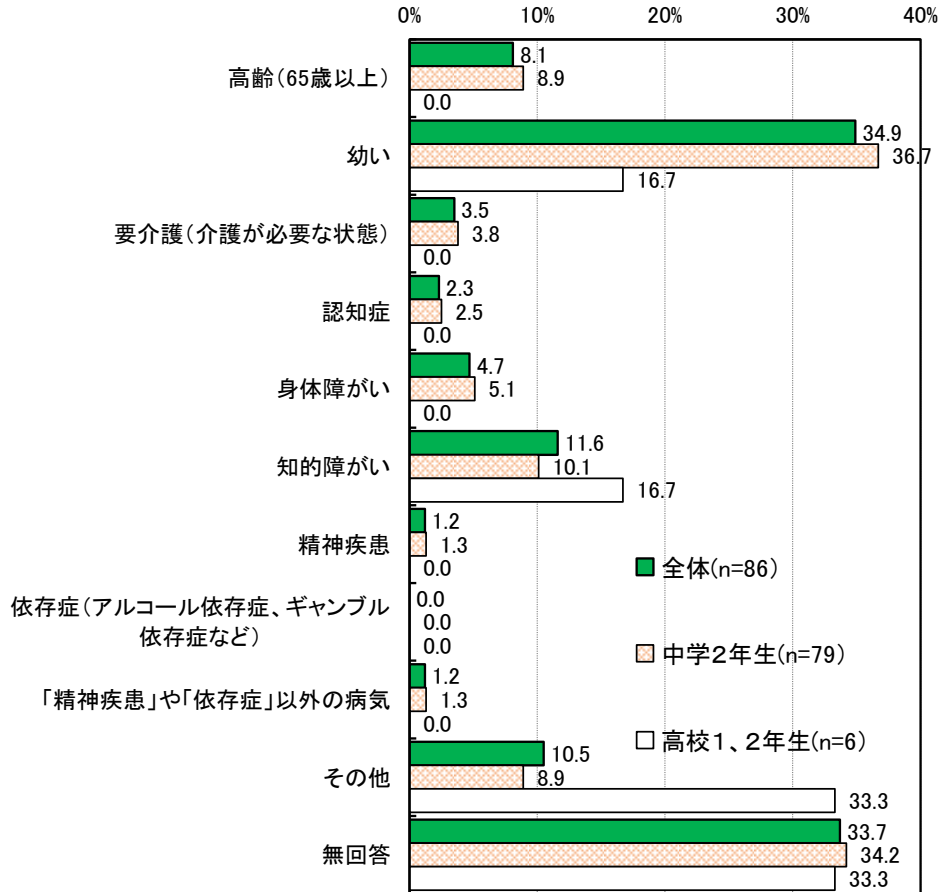
①お世話を必要としている方(あてはまる番号すべてに○)

世話を必要としている家族については、「兄弟姉妹」が最も高く、次いで「母親」となっている。



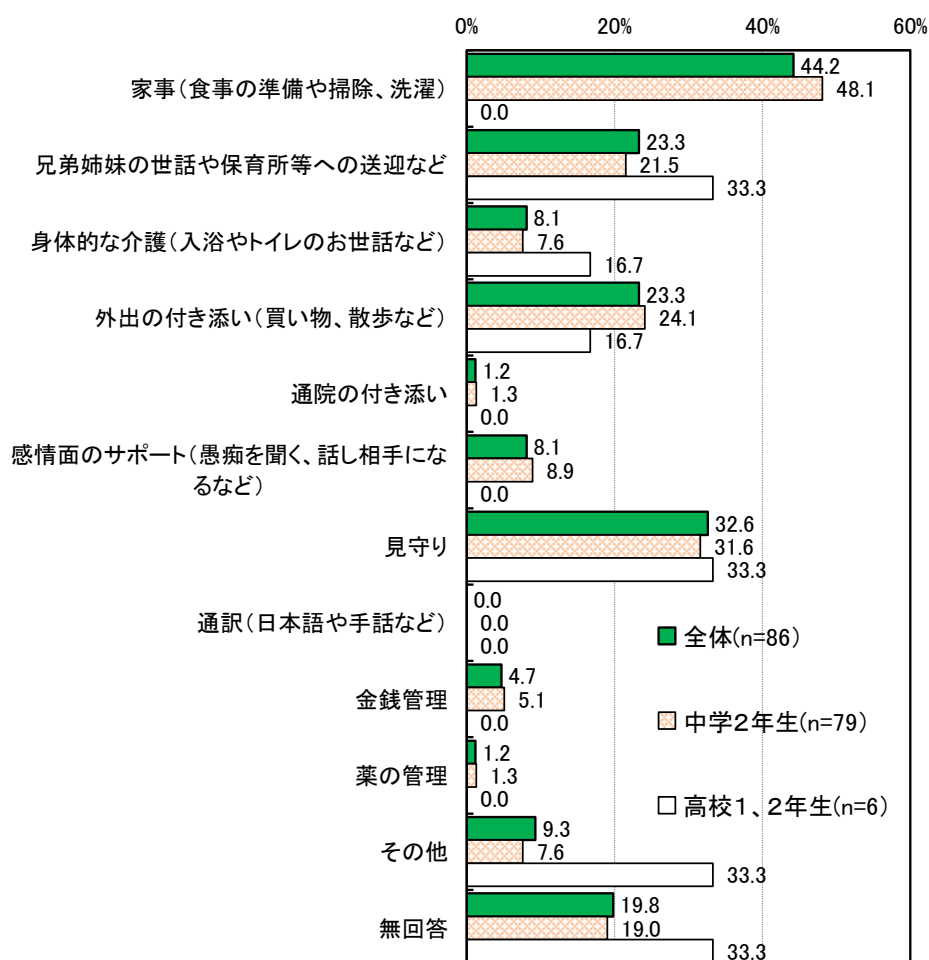
②お世話を必要としている方の状況を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

世話を必要としている方の状況については、「若い」が最も高くなっている。



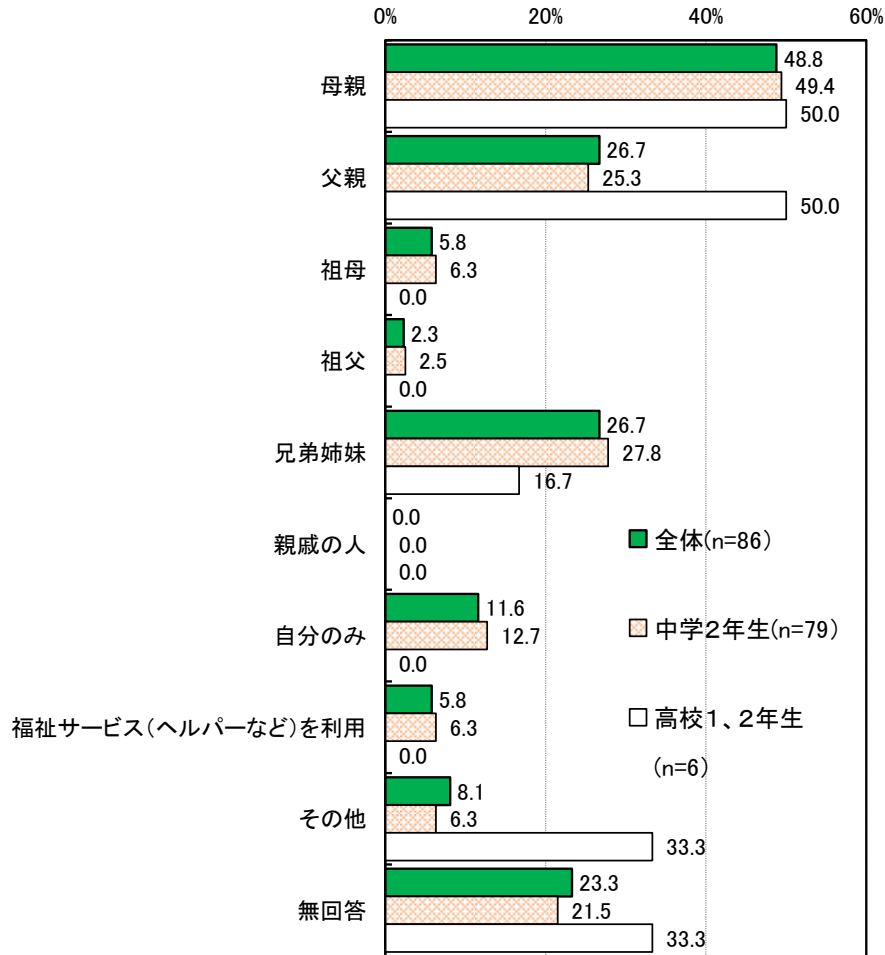
③あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

行っている世話の内容については、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が最も高く、次いで「見守り」、「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」「外出の付き添い(買い物、散歩など)」などとなっている。



④お世話は誰と行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

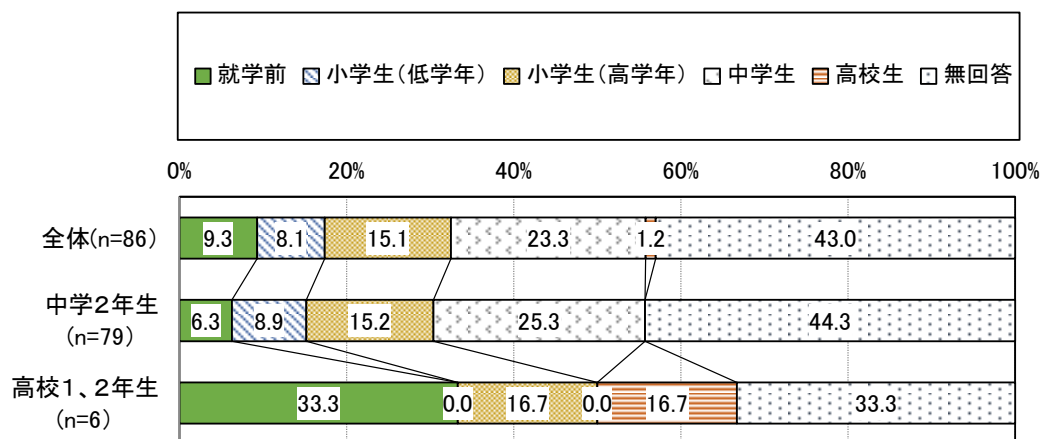
世話を一緒にしている人については、「母親」、「父親」、「兄弟姉妹」が高くなっている。一方で、「自分のみ」と回答した人が11.6%いる。



⑤お世話はいつから行っていますか。お世話を始めた年齢をお答えください。

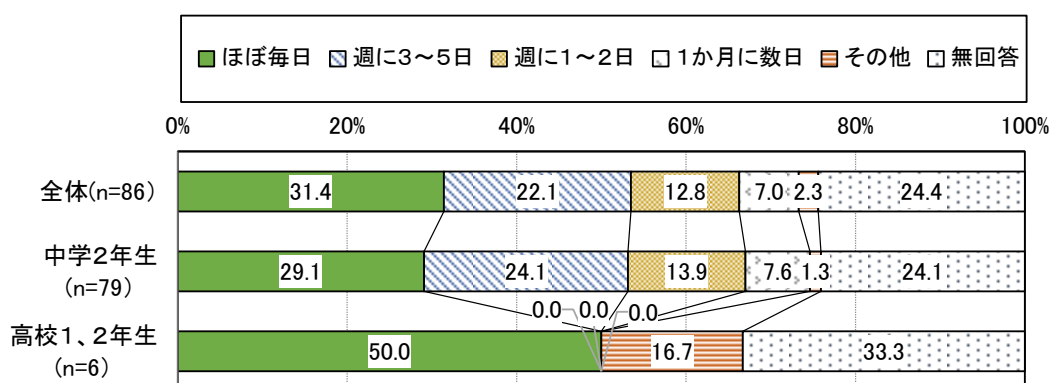
世話を始めた年齢については、中学2年生は平均 10.1 歳、高校1、2年生は 8.75 歳となっている。

世話を始めた年齢をカテゴリー化すると、「中学生」が最も高くなっている。



⑥お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

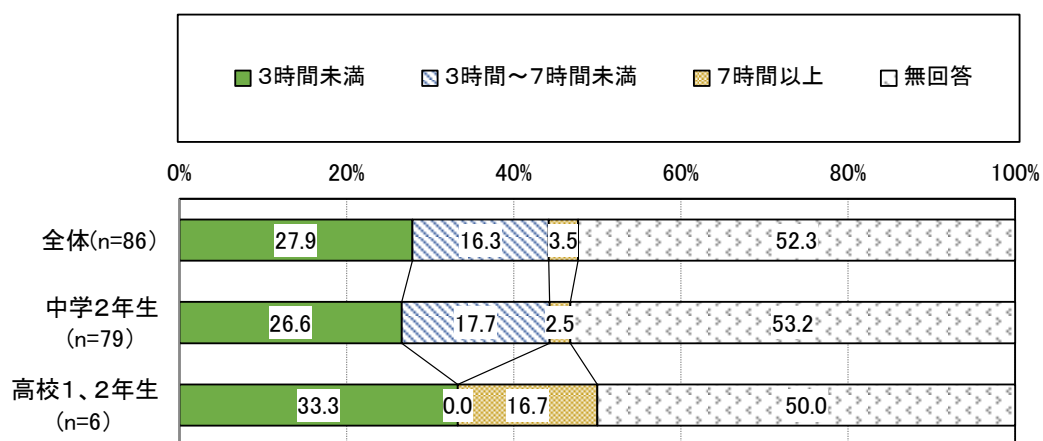
世話をしている頻度については、「ほぼ毎日」が最も高くなっている。



⑦平日にお世話はどれくらい行っていますか。時間数をお答えください。(日によって異なる場合は、この1か月の中で最も長かった日の時間をお答えください)

平日1日あたりの世話に費やす時間については、中学2年生は平均2.8時間、高校1、2年生は平均2.3時間となっている。

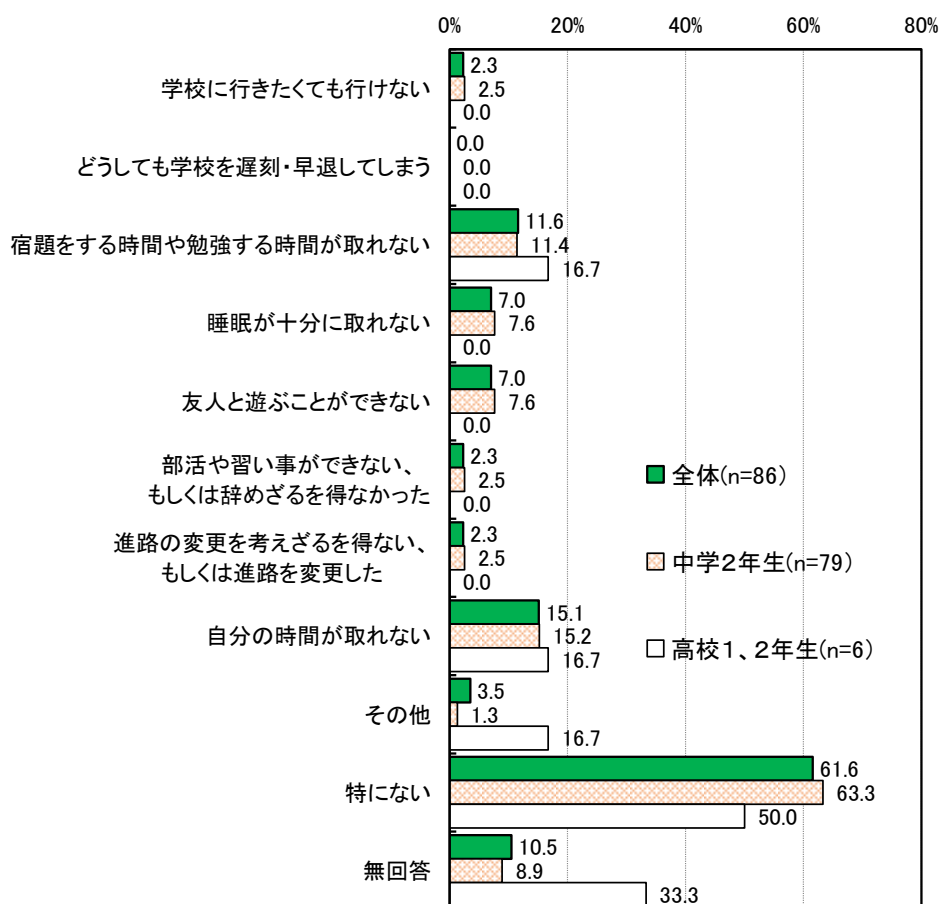
平日1日あたりに世話に費やす時間をカテゴリー化すると、「3時間未満」が最も高くなっている。



(3) 世話をしているために、やりたいけれどできていないこと

問 13 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。
 (あてはまる番号すべてに○)

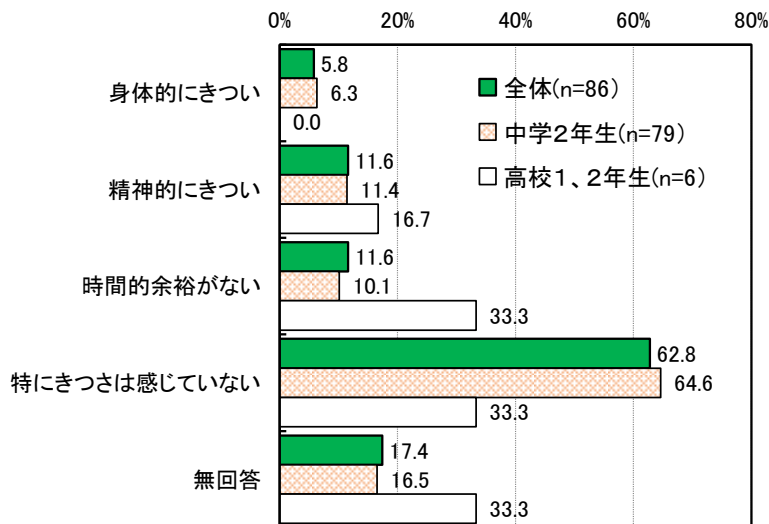
世話をしているために、やりたいけれどできていないことについては、「特にない」が最も高くなっているが、その他では、「自分の時間が取れない」、「宿題をする時間や勉強する時間が取れない」が高くなっている。



(4) 世話のきつさ

問 14 お世話をすることにきつさを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

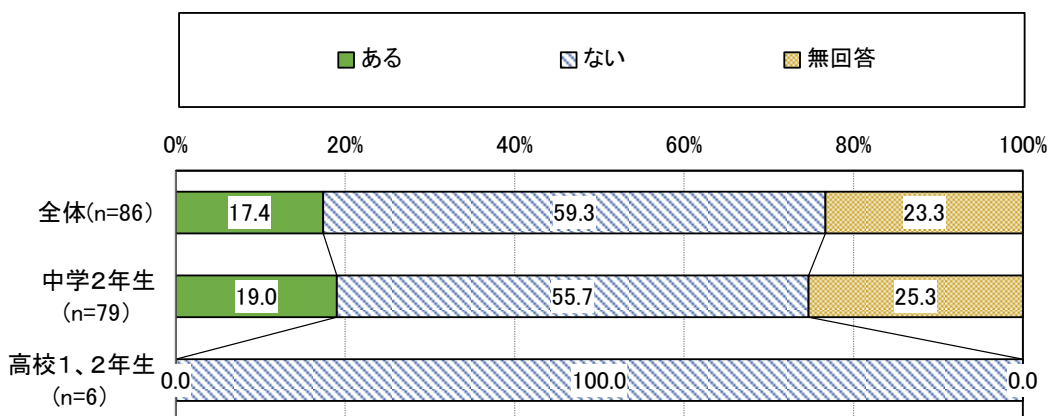
世話をすることを感じているきつさについては、「特にきつさは感じていない」が最も高く、次いで「精神的にきつい」が11.6%、「時間的余裕がない」が11.6%、「身体的にきつい」が5.8%となっている。



(5) 世話について相談した経験

問 15 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

世話について相談した経験は、「ある」が17.4%、「ない」が59.3%となっている。高校1、2年生では全員が「ない」と回答している。

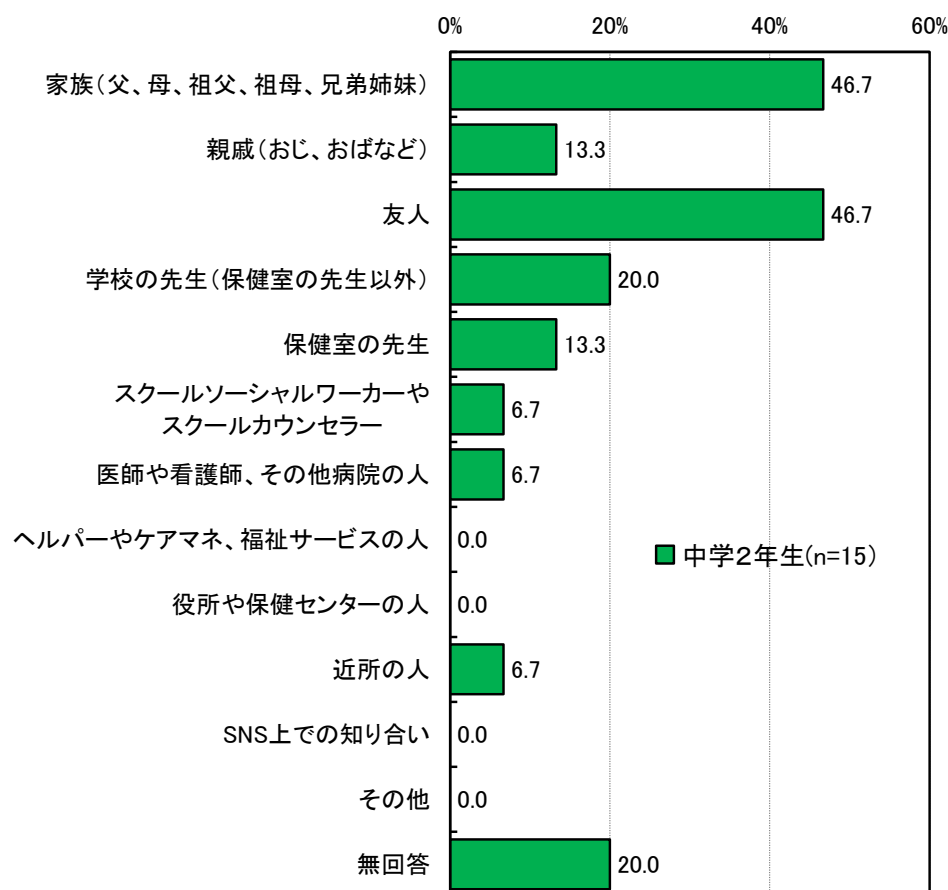


(6) 世話についての相談相手

問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問16 それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、世話についての相談相手を聞いたところ、「家族(父、母、祖父、祖母、兄弟姉妹)」、「友人」が最も高くなっている。



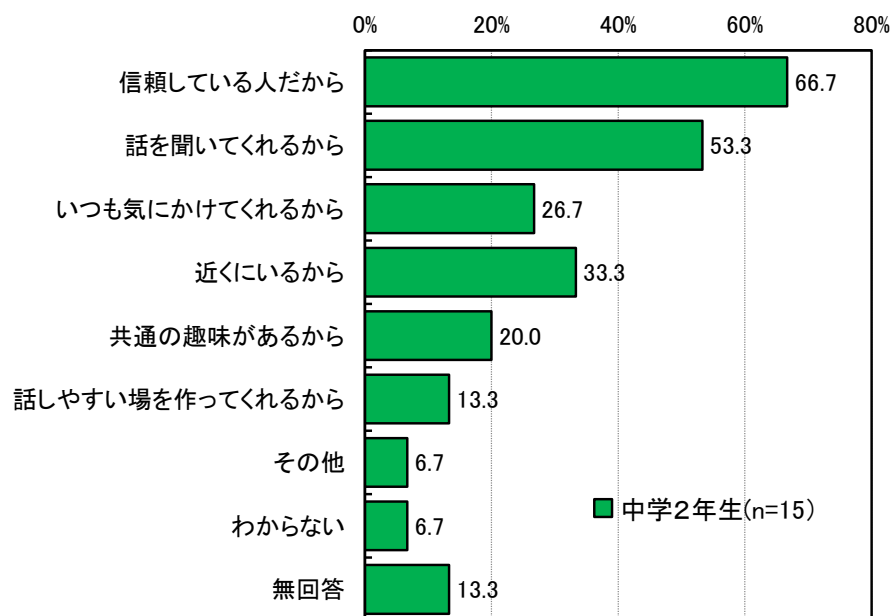
※高校1、2年生は回答無し

(7) 世話について相談した理由

問 15 で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問 17 なぜ相談しようとおもいましたか。(あてはまる番号すべてに○)

世話について相談した経験が「ある」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「信頼している人だから」が最も高く、次いで「話を聞いてくれるから」、「近くにいるから」となっている。



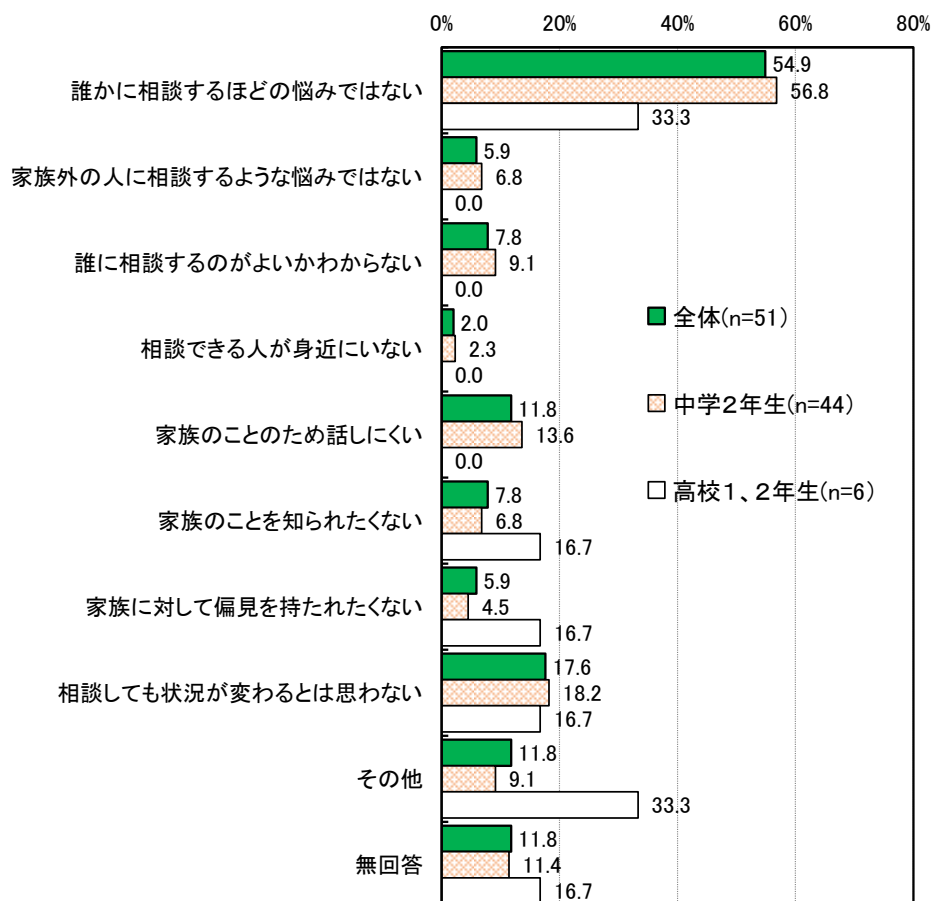
※高校1、2年生は回答無し

(8) 世話について相談したことがない理由

問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

問18 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、その理由について聞いたところ、「誰かに相談するほどの悩みではない」が最も高くなっているが、その他では「相談しても状況が変わるとは思わない」、「家族のこのため話しにくい」が高くなっている。



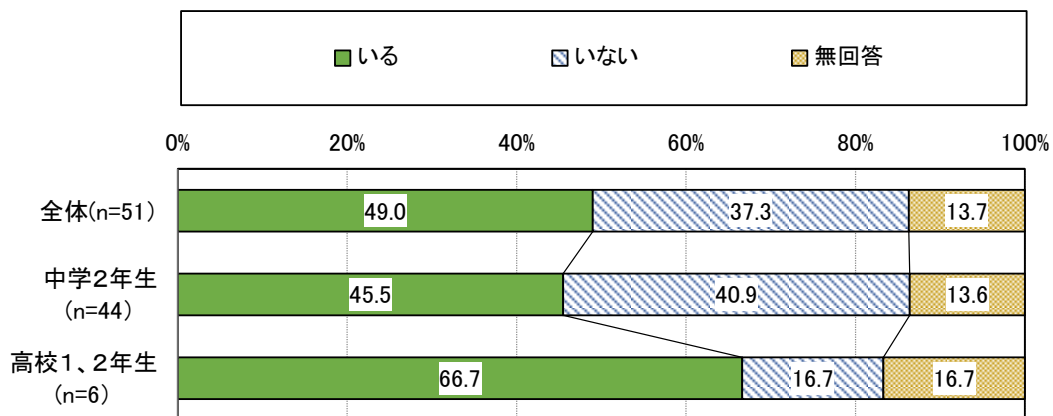
(9) 世話について話を聞いてくれる人の有無

問 15 で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

問 19 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。

(あてはまる番号 1 つに○)

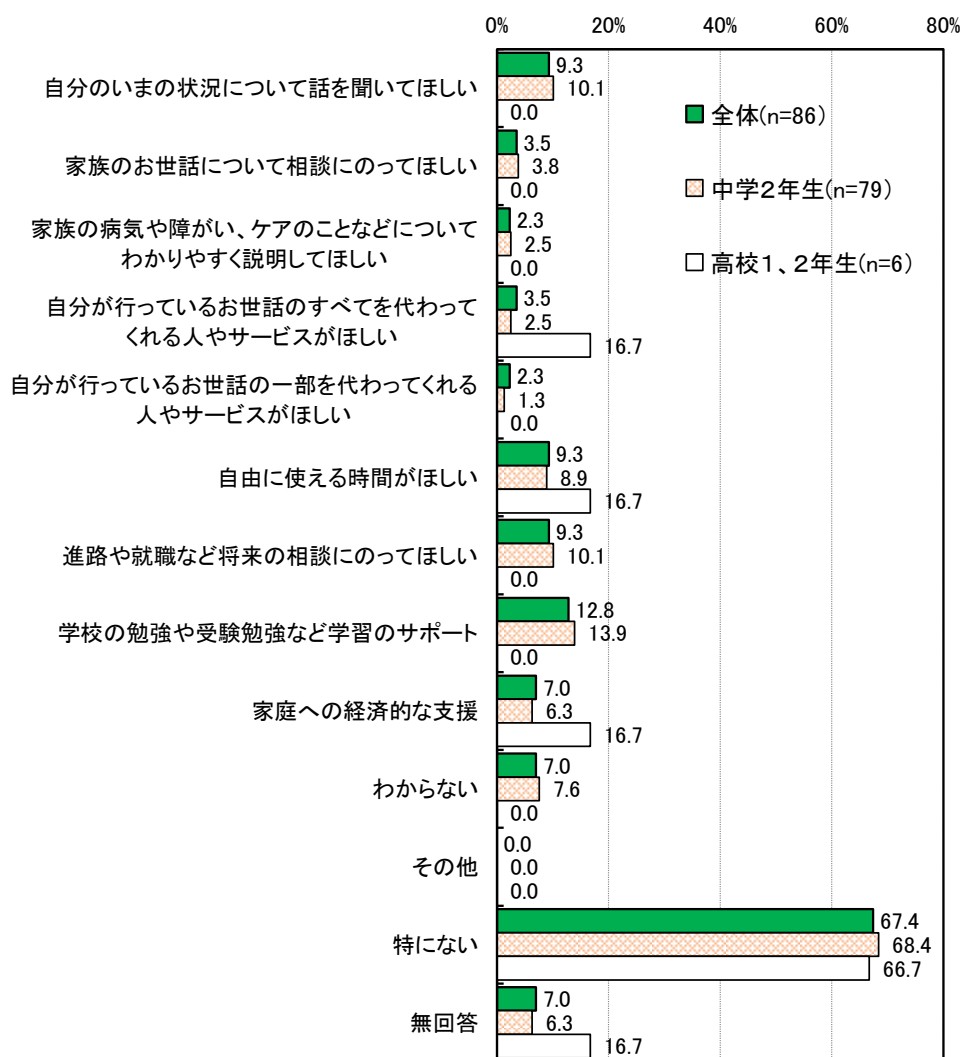
世話について相談した経験が「ない」と回答した人に、世話について話を聞いてくれる人の有無を聞いたところ、49.0%が「いる」、37.3%が「いない」と回答している。



(10) 学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援

問 20 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

学校や大人に助けてほしいこと、必要な支援については、「特にない」が 67.4%と最も高くなっているが、その他では、「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」が 12.8%、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」が 9.3%となっている。



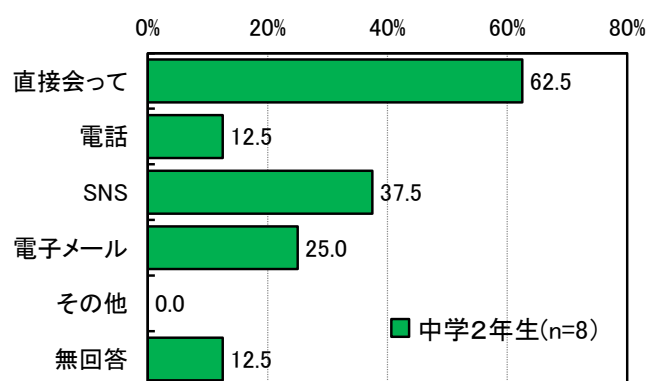
(11) 希望する相談の手段

問 20 で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。

問 21 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。

(あてはまる番号すべてに○)

問 20 で「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談の手段を聞いたところ、「直接会って」が最も高く、次いで「SNS」、「電子メール」となっている。



※高校 1、2 年生は回答無し

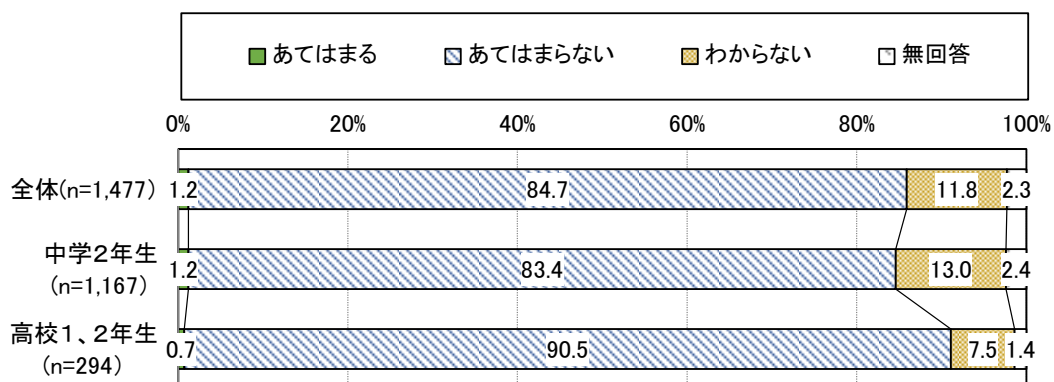
IV. ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーの自覚

問 22 あなた自身は「ヤングケアラー」にあてはまると思えますか。

(あてはまる番号1つに○)

自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、中学2年生が1.2% (14人)、高校1、2年生が0.7% (2人)が「あてはまる」と回答している。

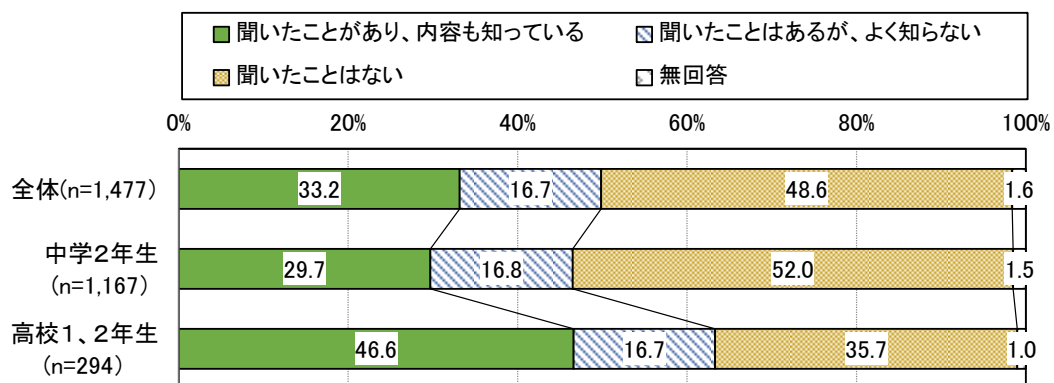


(2) ヤングケアラーの認知度

問 23 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(あてはまる番号1つに○)

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」が33.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.7%となっている一方、「聞いたことはない」が48.6%となっている。



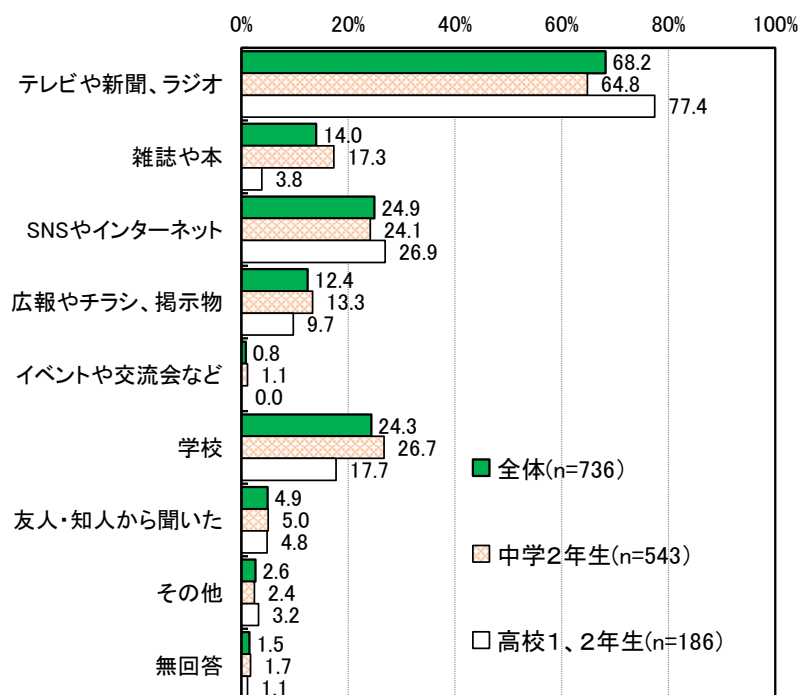
(3) ヤングケアラーについて知ったきっかけ

問 23 で「1. 聞いたことがあり、内容も知っている」または「2. 聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した方にお聞きします。

問 24 「ヤングケアラー」という言葉をどこで知りましたか。

(あてはまる番号すべてに○)

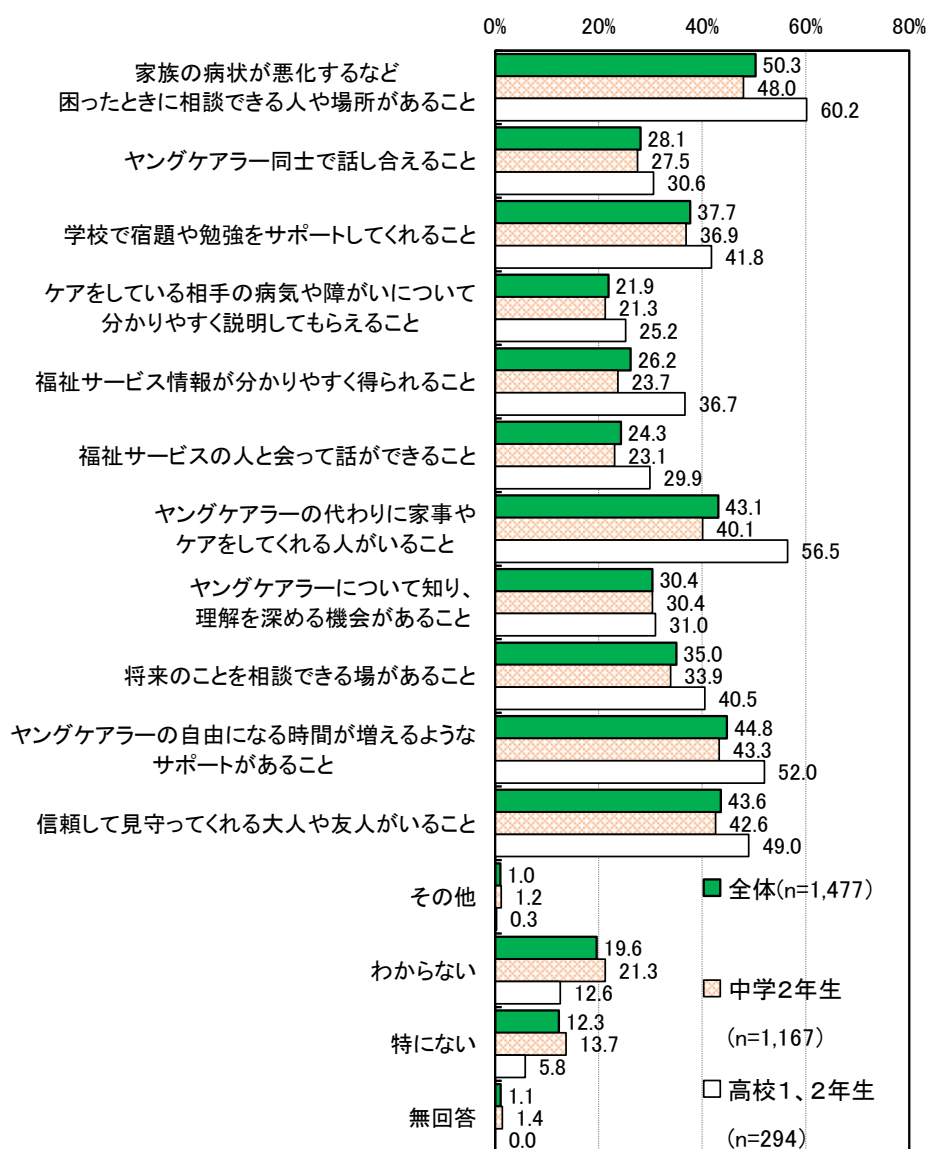
ヤングケアラーについて、「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはあるが、よく知らない」と回答した人に、知ったきっかけを聞いたところ、「テレビや新聞、ラジオ」が最も高く、次いで「SNSやインターネット」、「学校」となっている。



(4) ヤングケアラーに対して必要なサポート

問 25 ヤングケアラーに対してこんなサポートがあったらいいと思うことはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

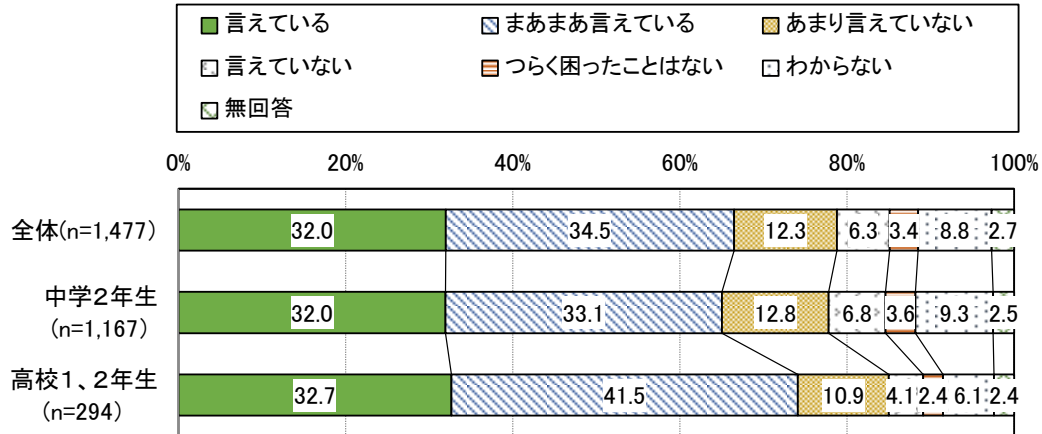
ヤングケアラーに対して必要なサポートについては、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること」が最も高く、次いで、「ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること」、「信頼して見守ってくれる大人や友人がいること」、「ヤングケアラーの代わりに家事やケアをしてくれる人がいること」となっている。



(5) 我慢せず意見を言える環境

問 26 子どもの権利条約では自分に関係のあることについて、自分の意見を表す権利があるとされています。あなたがつらく困った時には、家族や先生、友人などに、我慢せずにあなたの意見を言えていますか。(あてはまる番号1つに○)

つらく困った時には、家族や先生、友人などに、我慢せずに意見を言えているか聞いたところ、「言えている」、「まあまあ言えている」と回答している人を合計すると中学2年生では65.1%、高校1、2年生では74.2%となっている。

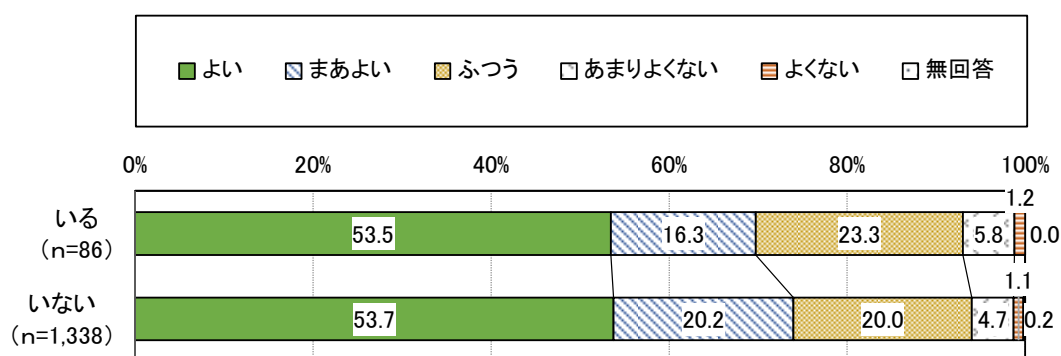


V. 中高生調査 追加分析

(1) 世話をしている家族の有無

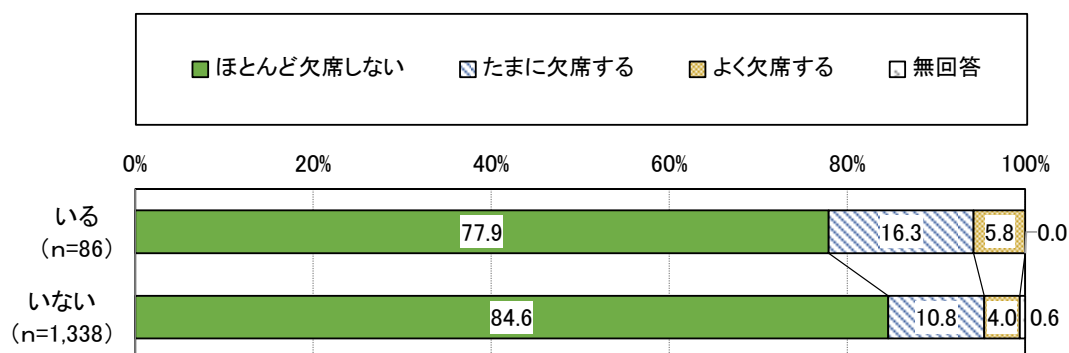
【世話をしている家族の有無 × 健康状態】

世話をしている家族がいる場合、いない場合で大きな差異は見られないが、世話をしている家族がいる場合は、いない場合に比べて、「まあよい」が低く、「ふつう」の割合が高くなっている。



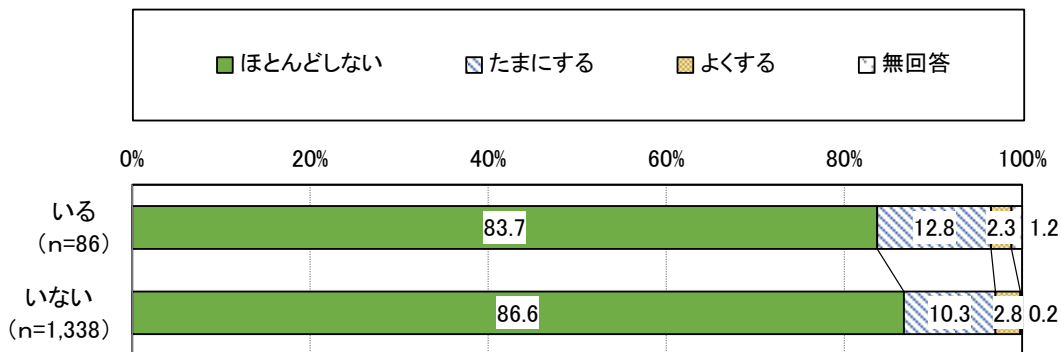
【世話をしている家族の有無 × 出席の状況】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「たまに欠席する」の割合が高くなっている。



【世話をしている家族の有無×遅刻や早退の状況】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、遅刻や早退を「たまにする」の割合が高くなっている。



【世話をしている家族の有無×ふだんの学校生活等ではまること】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「特にない」と回答した人の割合が低くなっている。世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、「部活動や習い事を休むことが多い」、「提出しなければいけない書類などの提出が遅れることが多い」が高くなっている。

	合計 (人)	授業中に居眠りすることが多い	宿題や課題ができていないことが多い	持ち物の忘れ物が多い	部活動や習い事を休むことが多い	の提出が遅れることが多い書類など	校外学習や宿泊行事を欠席する	保健室で過ごすことが多い	学校では1人で過ごすことが多い	りする時間が少ない	友人と遊んだり、おしゃべりした	特にない	無回答
全体	1,477	17.3	11.4	13.6	7.5	13.2	1.4	1.2	6.8	8.1	59.6	3.3	
いる	86	16.3	14.0	12.8	15.1	19.8	1.2	1.2	7.0	9.3	52.3	4.7	
いない	1,338	17.3	11.0	13.3	6.8	12.5	1.2	1.0	6.8	7.9	60.4	3.1	

【世話をしている家族の有無×現在の悩みや困りごと】

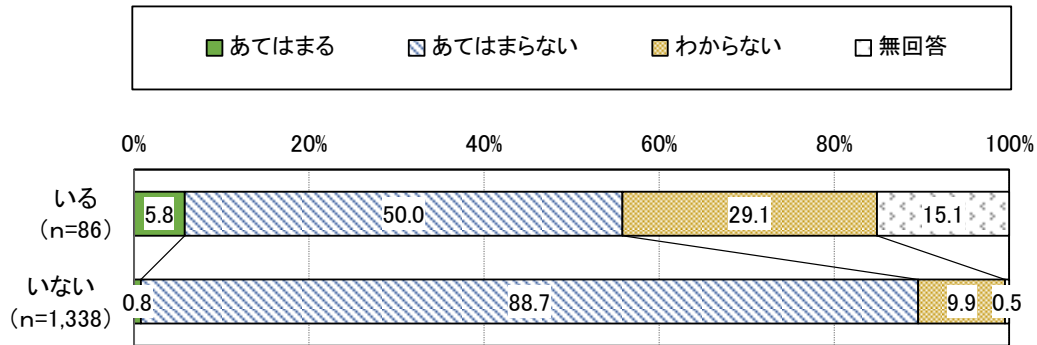
世話をしている家族がいる場合、いない場合ともに、「進路のこと」、「学業成績のこと」と回答した割合が他に比べて高くなっている。

また、世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて「進路のこと」、「病気や障がいのある家族のこと」、「自分と家族との関係のこと」と回答した割合が高くなっている。

	合計（人）	友人との関係のこと	学業成績のこと	進路のこと	部活動のこと	学費（授業料）など学校生活に必要なお金のこと	塾（通信含む）や習い事ができない	家庭の経済的状况のこと	自分と家族との関係のこと	家族内の人間関係のこと（両親の仲が良くないなど）	病気や障がいのある家族のこと	自分のために使える時間が少ない	その他	特にない	無回答
全体	1,477	16.0	38.4	41.3	15.4	3.6	2.2	5.6	8.1	5.6	1.4	7.0	3	39.7	2.7
いる	86	16.3	40.7	47.7	18.6	8.1	5.8	10.5	12.8	5.8	7.0	8.1	4	32.6	4.7
いない	1,338	15.2	38.0	40.5	15.1	3.0	1.6	4.8	7.0	5.0	0.9	6.5	3	40.6	2.5

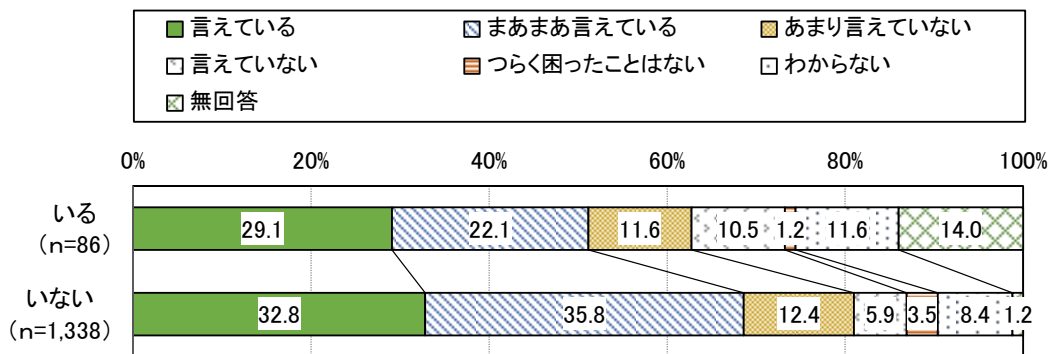
【世話をしている家族の有無×ヤングケアラーの自覚】

家族の世話をしていると回答した人のうち、5.8%が自分はヤングケアラーに「あてはまる」と回答している一方で、50.0%が「あてはまらない」、29.1%「わからない」と回答している。



【世話をしている家族の有無×我慢せず意見を言える環境】

世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて「言えている」、「まあまあ言えている」と回答している人の割合が低く、11.6%が「あまり言えていない」、10.5%が「言えていない」と回答している。



(2) 世話をしている家族

【世話をしている家族×世話をしている方の状況】

世話をしている方の状況については、世話を必要としている家族が「父母」では、「その他」が最も高く、次いで「高齢（65歳以上）」、「身体障がい」、「知的障がい」となっている。

「祖父母」では、「高齢（65歳以上）」が最も高く、次いで「要介護（介護が必要な状態）」となっている。

「兄弟姉妹」では、「若い」が最も高く、次いで「知的障がい」となっている。

	合計 (人)	高齢 (65歳以上)	若い	要介護 (介護が必要な状態)	認知症	身体障がい	知的障がい	精神疾患	ギャンブル依存症など	依存症 (アルコール依存症、 の病気 「精神疾患」や「依存症」以外	その他	無回答
全体	86	8.1	34.9	3.5	2.3	4.7	11.6	1.2	0.0	1.2	10.5	33.7
父母	26	7.7	0.0	3.8	0.0	7.7	7.7	3.8	0.0	3.8	23.1	50.0
祖父母	7	71.4	0.0	28.6	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
兄弟姉妹	45	2.2	66.7	0.0	2.2	2.2	17.8	0.0	0.0	2.2	4.4	13.3
その他	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	25.0

【世話をしている家族×お世話の内容】

世話の内容については、世話を必要としている家族が「父母」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「外出の付き添い（買い物、散歩など）」が高くなっている。

「祖父母」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」が高くなっている。

「兄弟姉妹」では、「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、「見守り」、「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」が高くなっている。

	合計 (人)	家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など	身体的な介護（入浴やトイレのお世話など）	外出の付き添い（買い物、散歩など）	通院の付き添い	感情面のサポート（愚痴を聞く、話し相手になるなど）	見守り	通訳（日本語や手話など）	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全体	86	44.2	23.3	8.1	23.3	1.2	8.1	32.6	0.0	4.7	1.2	9.3	19.8
父母	26	42.3	3.8	0.0	30.8	0.0	7.7	11.5	0.0	7.7	0.0	15.4	26.9
祖父母	7	42.9	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3
兄弟姉妹	45	48.9	42.2	13.3	28.9	2.2	13.3	48.9	0.0	6.7	0.0	4.4	4.4
その他	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

(3) 家族構成

【家族構成×世話をしている家族】

家族構成別で世話を必要としている家族をみると、二世帯世帯は「兄弟姉妹」、三世帯世帯は「父母」、「祖父母」、「兄弟姉妹」、ひとり親家庭では「兄弟姉妹」が最も高くなっている。

	合計 (人)	父母	祖父母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	86	30.2	8.1	52.3	4.7	14.0
二世帯世帯	61	24.6	4.9	54.1	4.9	16.4
三世帯世帯	9	33.3	33.3	33.3	0.0	11.1
ひとり親家庭	15	53.3	0.0	60.0	0.0	6.7

【家族構成×お世話の内容】

家族構成別で世話の内容をみると、二世帯世帯、ひとり親世帯では「家事（食事の準備や掃除、洗濯）」、三世帯世帯では「見守り」が最も高くなっている。

	合計 (人)	家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など	身体的な介護 (入浴やトイレのお世話など)	外出の付き添い (買い物、散歩など)	通院の付き添い	話し相手になるなど (愚痴を聞く、感情面のサポート)	見守り	通訳 (日本語や手話など)	金銭管理	薬の管理	その他	無回答
全体	86	44.2	23.3	8.1	23.3	1.2	8	32.6	0.0	4.7	1.2	9.3	19.8
二世帯世帯	61	44.3	23.0	8.2	26.2	1.6	7	36.1	0.0	3.3	1.6	9.8	18.0
三世帯世帯	9	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	0	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	44.4
ひとり親家庭	15	60.0	26.7	6.7	20.0	0.0	20	13.3	0.0	13.3	0.0	6.7	13.3

VI. 自由記述について

ヤングケアラーへの支援を広げていくために必要だと思うことや要望などを自由に書いてください。

以下に記載する意見は、原文のままではないが、なるべく回答者の表現を用いる形で記載している。

(1) 相談体制の充実、相談しやすい・話しやすい環境づくり

- ・ヤングケアラーをさせている大人の人が相談することが大事だと思う
- ・ヤングケアラーの人が安心してかつ気軽に空いた時間でいけるような相談場所があると思う。学校のカウンセリングは行きづらいつと感じる人も多いと思うから、できれば学校外がいいと思う。
- ・周りに相談しにくいというのが問題の入口だと思うので、匿名で相談できる電話や LINE の窓口を作るのが必要と思います。その窓口を通して、何をしてくれるのかが分からないと電話もしにくいと思うので、相談すればご飯を届けてくれる、ヘルパーさんが買い物や洗濯などの家事をしてくれる、など明確な支援が分かれば、電話をする気になってくれるのではと思います。社会で支えなくてはいけない問題だと思います。
- ・学校などでヤングケアラーについて学ぶ時間を設けることや、周りに相談しやすい雰囲気や環境を作っていくことがヤングケアラーの人にとって安心して生活していくことにつながると思う。
- ・ケアしている人が1人で抱え込まないように相談する場が必要だと思う。ケアしている人の将来の夢とかを諦めることがないようにケアを手伝ったり家事とかをしてくれる家政婦的な人、何気ないことでも心配してくれる人が近くにいることが大切だと思う。だけど、その人の家庭の事情に踏み込みすぎない一定の距離感を保てる人が近くにいてくれたらいいなと思います。

(2) 子どもたちの意見を伝えられる環境づくり、意思の尊重

- ・ヤングケアラーで困っている人の意見をしっかりと聞けるような場所を作る。
- ・ヤングケアラーの人が最近多くなっていると、テレビで言っていました、多分ヤングケアラーだと言えていない人がいると思うので、そんな人も言えるようになって欲しいです。
- ・しっかりとした必要だと思うことは思いつかないが、大人に「相談してね」と言われてもできない子は多いと思う。
- ・ヤングケアラーを尊重すべきだと思う
- ・人と人が話しやすい環境にした方がいいと思う。

(3) 学校におけるサポートや配慮

- ・ヤングケアラーの人に、学校をいける選択を増やすこと。
- ・生徒が学校などを欠席したら、その都度、学校の先生から生徒の自宅に連絡をすることを徹底したらいいと思う。担任の先生によって連絡してくれる先生としない先生がいる。ギガタブなどの活用もいいと思う。
- ・先生に相談できるような関係性づくり。
- ・ヤングケアラーであるかどうかを把握するために学校や地域で連携する。
- ・学校のルールや校則に縛られて余計苦しくなっている人もいると思うので学校がヤングケアラーへの支援をもっと考えてほしい。

(4) 周囲（大人や友達）の理解や寄り添い

- ・地域の人と交流を深める、ヤングケアラーの人たちをサポートする仕事をつくる。
- ・ヤングケアラーの人は自分で気づかず、当たり前のように取り組んでいると思うので、もっと学校などがヤングケアラーの人に学生生活の最低限が不自由なく、送れているか気にかけて方がいいと思う。
- ・もっと大人が子供をよく見て、サポートしてあげるべきだと思います。
- ・私だったら同じ境遇に立ったとき、心の余裕や子どもでいる時間、仲の良い友達などが必要だと思う。多くのヤングケアラーは、嫌でも先や広い世間を見なくてはいけないので、子どもでいられる時間を作ってあげることが一番重要だと思う。
- ・ヤングケアラーと言うことをその人自身から発信するのではなく、周りの大人が気づいてあげられる体制を作るのが必要だと思う。

(5) 福祉サービスやボランティア等による支援

- ・自分はヤングケアラーじゃない、自分は違うし、負担に思っていない、自分が我慢すればいい、などと思ってる人は、たくさんいると思う。民生委員や、保健師さんのようなかたの家庭訪問の必要があると思う。家の中のことは誰にもわからないから。実際、友達にもケアラーがいる。大変そうなのは知っている。対策を求めたい。
- ・大人がヤングケアラーの代わりに家事や世話をするなどする、専門的な仕事を作ればいいと思う。
- ・ヤングケアラーの代わりに家事などをしてくれるサービスが簡単に受けられるようになるといいなと思う。
- ・子どもが学校に行く時間帯だけ預かってくれる所(デイサービスなど)に入っていると少し負担が減るとおもいます。
- ・ケアされるべき人を一人一人地域で把握し、若い人だけでなくケアしている人をサポートできるような機関があるといいと思う。

(6) 経済的支援

- ・ヤングケアラーのいる家庭へ給付金を出すなど、金銭的な支援が必要だと思う。支援のために、もっと税金を使ってほしい。
- ・若い人たちがヤングケアラーにならないための金銭的な支援やストレスの解消の場。

(7) ヤングケアラーの普及啓発

- ・まだまだ、ヤングケアラーについて詳しく知らない人もたくさん学生などにいると思うので、道徳の授業などで、ヤングケアラーについて考える時間などを設けた方が良いと思う。それでみんながヤングケアラーについて深く理解し、考えることができるので、支援が広めやすくなっていくと思う。
- ・ヤングケアラーを知る人がもっと増えること。周りの人が理解してあげる。
- ・世の中には私よりももっと辛い人はたくさんいて頑張っている人もたくさんいるとわかりました。「ヤングケアラー」ということを知らない人はたくさんいると思います。学校や地域の子ども会などで少しでも取り扱い、少しでも多くの方がヤングケアラーのことを知り、少しでも多くヤングケアラーさんたちが心落ち着く日が来ることを願っています。
- ・ヤングケアラーのことをあまり知らない人に、ヤングケアラーについて詳しく知ってもらい、どのようなことに困っているか詳しく発信してもらって、みんなでどのような支援をすればいいのか、考えることが必要だと思います。
- ・ヤングケアラーにも教育を受ける権利があり、本人が教育を受けることを望む限り他の人と同等の教育の環境を作るべき。まずは周りにヤングケアラーの存在を認知してもらうことから始めるべきだと思う。

(8) ヤングケアラー同士の情報交換の場

- ・ヤングケアラーの人が悩み事を抱え込み過ぎないようにヤングケアラーの友達が必要だと思う。
- ・ヤングケアラーの人同士で話す機会を作る。
- ・ひとりじゃないと思えるように、また、実際に体験した人にしかわからないこともあると思うので、自分と同じような境遇を乗り越えた人の話を聞く機会があればいいと思います。

(9) ヤングケアラーの実態を把握する取組

- ・ヤングケアラーの認知徹底。ヤングケアラーを自覚していない人もいると思うので学校の先生等と個人面談をして各個人の生活状況をヒヤリングしていく必要があると思います。
- ・学校とヤングケアラーの生徒の間で家族の状態の把握などをしっかりするのが最優先でやるべきことだと思う。
- ・ヤングケアラーとは、その当事者が言わないと周りの友達が気づくこともないだろうし、なかなか言いづらいことだと思うので、生徒の方に「相談しに行ってね」と声をかけるのではなく、なんとなく家庭環境を調査するようなアンケートをしたりして、少しおかしいなと思う家庭があったら声をかけてみるほうが、絶対に相談しやすいと思う。
- ・各自治体などでの、ヤングケアラーの実態の把握とその家族の意見の聞き取り。また、ヤングケアラーであることを話しやすい環境を作ること。
- ・相談できる施設や相談できる人や気軽に相談できるように定期的にアンケートをやったら良いと思う
- ・どこからがヤングケアラーなのかという指標や数値を示した上で小学生から高校生に向けて定期的にアンケートを実施することが必要だと思います。どの人に支援が必要なのかをはっきりさせることができ、支援を必要としている人に迅速な対応ができるようになると思うからです。

(10) その他支援の充実（自分のための時間をつくってあげるなど）

- ・ヤングケアラーを脱出できるような、また未然に防ぐような制度を作ること。
- ・青年期、思春期などは多くのことを吸収し、成長するので学習や友達と遊ぶ時間が確保されるべきだと思う。そのため介護ホーム等の施設が協力してヤングケアラーの自由な時間を確保する必要があると思う。
- ・もっとヤングケアラーについて知り、できるだけサポートや支援などをする必要があると思う。ヤングケアラーの子は自分の勉強時間や、友達と遊ぶ時間など色々なことを削ってやっているから、その子たちがもっと自分の時間をつくれるような環境をつくる必要がある。
- ・家族のことを相談するのは勇気がいる。相談できないから一人で抱えているのではないか。色々な人が、色々な方面からサポートできるシステムがあったらいいと思う。

(11) ヤングケアラーに関する感想

- ・ヤングケアラーの人のための措置より、その世話されている人のための解決策が必要だと思う。そうすれば根本的な解決につながると思った。
- ・ヤングケアラーの考え方を第一に尊重しながら支援、サポートすることが大切だと思います。
- ・家族だけの問題ではなく社会問題として多くの人が考えて行くことが大切だと思います。
- ・ヤングケアラーだからと言って差別や偏見しないこと。

(12) お世話をしている家族がいると回答した生徒からの声

- ・コロナ禍の状況でどのように支援するのかを具体的に知りたい。
- ・私は楽しく弟たちと遊んでいます。
- ・弟の世話をすれば、家事をしなくて済むので行っている。
- ・簡単に意見を伝えることができる今回のようなアンケート調査、周囲の理解が得られること、相談することが真の意味で解決につながる（相談することが無駄ではなくなる）こと。
- ・別に親がやるなんて法律で決まっていなくて自分たちが嫌じゃないならそれに協力すべきだと思う。また、親だけがやっていると親が病んじゃうかもしれないからなるべくするべきだと思う。また、家事ぐらい誰でもできるんだから率先してやる必要がある。もしくは、家族で分担してそれぞれが自分の仕事をやるのもありだと思う。
- ・同じ気持ちを持っている人同士で話せる場。
- ・ヤングケアラー同士で話し合いたいです。
- ・ヤングケアラーの状態について、積極的に発信していくべきだと思う。また、そういう人への支援を手厚くするべきだと思う。今、大人の人でも過去にヤングケアラーだった人がいるから、そういう人の就職などの支援をするべきだと思う。

3. 調査結果とりまとめ、考察など

(1) 世話をしている家族の有無について

自分が世話をしている家族が「いる」と回答した人の割合は、小学5年生で7.3% (109人)、中学2年生で6.8% (79人)、高校1、2年生で2.0% (6人)であった。

なお、国が令和3年3月に公表した「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」では、中学2年生5.7%、全日制の高校2年生4.1%となっている。

国の調査とは有効回答数の規模(中学校2年生:国5,558、市1,167 高校生(全日制):国7,407、市294)や、高校生では調査対象の学年範囲が異なる等のため、一概に比較することは難しいが、中学2年生では国の調査よりもやや高く、全日制の高校生ではやや低い結果がみられた。ただ、いずれも明白な差異までは認められないことから、中高生については、国の調査結果と概ね近似した傾向であることが推察される。

(2) 世話の対象・内容等について

世話をしている対象については、「兄弟姉妹」が最も高く、ついで「母親」、「父親」となっている。これは、家族構成の9割前後が「二世帯世帯」と「ひとり親世帯」となっているためと考えられる。

世話の内容については、小学生では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が最も高く、他に「話を聞く」、「見守り」、「買い物や散歩に一緒に行く」が高くなっている。

中高生では、「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が最も高く、他に「見守り」、「兄弟姉妹の世話や保育所等への送迎など」、「外出の付き添い(買い物、散歩など)」が高くなっている。

世話を一緒にしている人については、小・中学生、高校生とも「母親」が最も高く、全体の半数前後となっている。

一方で、「自分のみ」との回答も1割以上となっていることに加え、「福祉サービス(ヘルパーなど)を利用」との回答は少ないことから、単独で世話をしている子どもの孤立を防ぐため、家族以外の支援の希望があった場合に対応できる環境を整えることについても、検討していく必要があるものと考えられる。

世話の頻度については、小学生、中高生とも「毎日」が最も高く、世話に費やしている時間については、小学生、中高生とも平日は「3時間未満」が最も高くなっており、中高生においては、国調査と概ね同様の傾向となっている。

そのため、その多くが1日の大半を費やすような支障の度合いではないと考えられるものの、単発ではなく継続的に支援していくことが必要となる傾向がうかがえる。

(3) 世話の影響

健康状態については、世話をしている家族がいる場合といない場合を比べて、顕著な差異は見られていないが、世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、健康状態が「よい」と回答した割合が小学生でやや低く、中高生では、「まあよい」と回答した人がやや低く、「ふつう」と回答した人の割合がやや高くなっている。

学校生活においては、世話をしている家族がいる場合、いない場合に比べて、欠席、遅刻や早退が「たまにある」と回答した割合や、「提出物の提出を遅れることが多い」、「持ち物の忘れ物が多い」、「宿題ができていないことが多い」、「部活動や習い事を休むことが多い」などの割合が高くなっていることに加え、世話をしているために、やりたいけどできないことについては、「特にない」が6割以上となっているものの、その他に、「自分の時間が取れない」、「宿題など勉強する時間が取れない」といった回答も1割前後存在しており、学校生活におけるこのような支障の状況は、背景に家族の世話といった、ヤングケアラーの可能性を示唆する兆候となりうると考えられる。

また、家族の世話をしている場合の現在の悩みや困りごとについては、いない場合に比べて、「特にない」と回答した人の割合が低い一方、「学校の成績のこと」、「自分のために使える時間が少ないこと」、「進路のこと」、「(病気や障がいのある)家族のこと」、「自分と家族との関係のこと」と回答した割合が高くなっており、自身の学業面や生活面、家族に関する悩みや困りごとを抱えている傾向があることがうかがえた。

(4) 世話についての相談の状況・必要なサポート

世話について相談した経験は、小学5年生、中学2年生では「ある」と約2割が回答している。一方で高校1、2年生の回答者全員が「ない」と回答している。

相談相手については、小学5年生、中学2年生ともに「家族」が最も高く、次いで「友達」となっており、より身近な人に相談している状況がうかがえた。

一方で、世話について相談したことがない理由は、「誰かに相談するほどの悩みではない」が約6割程度と最も高くなっているが、他には、「相談しても状況が変わらない」、「家族のこのため話しにくい」などの回答があり、自由記述でも「家族のことを相談するのは勇気がいる。相談できないから一人で抱えているのではないか。」等の意見も見られることから、児童生徒が悩みや困りごとを抱えていたとしても、それが潜在化しやすい環境となっているものと考えられる。

学校や大人にしてもらいたいこと、必要な支援については、いずれも「特にない」が最も多い(小学生52.3%、中高生67.4%)が、小学生では「自由に使える時間がほしい」、「勉強を教えてほしい」、中高生では「学校の勉強や受験勉強など学習のサポート」、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「自由に使える時間がほしい」、「進路や就職など将来の相談にのってほしい」といった回答がそれぞれ1割前後みられた。

また、「自分のいまの状況について話を聞いてほしい」、「家族のお世話について相談にのってほしい」と回答した人に、希望する相談の手段を聞いたところ、小学生、中学生ともに「直接会って」が半数以上（小学生 50.0%、中学生 62.5%）と最も高くなっている。

自由記述では、「相談しづらい子も、安心して相談できる所が必要だと思う」、「困っている人の意見をしっかりと聞けるような場所を作る」、「ヤングケアラーを尊重すべきだと思う」等の意見が見られたことから、困ったときに安心して相談できる環境や対応が必要という認識であることがうかがえた。

（5）ヤングケアラーについて

中高生調査において、自分がヤングケアラーにあてはまると思うかについて聞いたところ、中学2年生が1.2%（14人）、高校1、2年生が0.7%（2人）が「あてはまる」と回答しているが、そのうち、家族の世話をしていると回答した人の割合は31.3%（5人）となっている。

一方、世話をしていると回答した人のうち、29.1%が「わからない」と回答している。

ヤングケアラーの認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」（33.2%）、「聞いたことはあるが、よく知らない」（16.7%）であり、国の調査（中学2年生：「聞いたことがあり、内容も知っている」（6.3%）、「聞いたことはあるが、よく知らない」（8.8%）、全日制高校2年生：「聞いたことがあり、内容も知っている」（5.7%）、「聞いたことはあるが、よく知らない」（6.9%））と比べ、高くなっている。一方、「聞いたことはない」と回答している割合は48.6%となっている。

ヤングケアラーに対して必要なサポートについては、「家族の病状が悪化するなど困ったときに相談できる人や場所があること」が最も高く、次いで、「ヤングケアラーの自由になる時間が増えるようなサポートがあること」、「信頼して見守ってくれる大人や友人がいること」、「ヤングケアラーの代わりに家事やケアをしてくれる人がいること」が高くなっている。

自由記述では、「ヤングケアラーの状態について、積極的に発信していくべきだと思う」、「学校などでヤングケアラーについて学ぶ時間を設ける」「周りの人が理解してあげる」等の意見が見られる。ヤングケアラーの認知度は国の調査と比較し高くなっており、時間の経過とともに認知が広まってきているものと考えられるが、ヤングケアラーの自覚の状況や、中高生の半数程度が「ヤングケアラーについて聞いたことはない」と回答している状況からも、子どもの周囲の人や子ども自身が、ヤングケアラーとなっている状況に気づけるよう、ヤングケアラーの正しい認識についてさらに広めていく必要があるものと推察される。

第 3 部 調查依頼文・調査票

第3部 調査依頼文・調査票

I. 保護者向け調査依頼文

「児童・生徒の生活実態に関するアンケート調査」ご協力をお願い 【保護者のみなさま】

千葉市では、市内の学校に通う児童・生徒を対象に、学校や家庭の中で抱える悩みや苦しみなどをお聞かせいただき、その解決に必要な支援策を検討するためにアンケート調査を実施します。例えば、介護や看护が必要な家族を抱えながら、あるいは保護者ご自身が病気や障がいを抱えながら子育てをしている方は多くいらっしゃいます。それは簡単なことではなく、どうしてもお世話を手伝わなければならないかもしれません。

各ご家庭におけるさまざまな事情から「ヤングケアラー」と思われる児童・生徒が悩みや困りごとを抱えている場合もあり、そうした児童・生徒へのより良い支援を検討していくための調査です。回答の1つ1つが参考になるものであり、できるだけ多くの意見を聞き取りたいと考えています。調査は無記名で行いますので、個人が特定されることはありません。また、目立ちなくともお子様に不利な結果はありません。回答していただけたら幸いです。無理のない範囲で答えていただくようお願いいたします。ぜひお子様の健康へのご協力にご理解をお願いします。

◆「ヤングケアラー」は、「本来大人が抱うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、子ども自身がやりたいことができないうなど、子ども自身の権利が守られていないと思われる子ども」です。以下は、ヤングケアラーの例を示した図です。

＜ヤングケアラーの例＞

障がいや病気のあ る家族に代わり、 買い物・料理・掃 きなどの家事 をしている	障がいや病気のあ る兄弟姉妹の世話 や見守りをしてい る	家族に代わり、幼 い兄弟姉妹の世話 をしている	障がいや病気のあ る兄弟姉妹の世話 や見守りをしてい る	障がいや病気のあ る兄弟姉妹の世話 や見守りをしてい る

©一般社団法人日本ケアラー連盟（一部改訂）

◆ご回答にあたってのお願い◆

- ・本アンケートはお子様自身で回答するようお願いしています。
- ・お子様が回答するために手助けなどが必要な場合は、学校（担任）や保護者の方に相談するようお願いしています。
- ・アンケートにかかる時間は10～15分程度です。
- ・主な調査項目は、学校や家庭での生活の状況、悩みや困りごと、相談相手の有無、ヤングケアラーへの必要な支援策などです。
- ・本調査は、インターネット上で回答していただくものであり、回答用の二次元コード・URLを記載した案内文をお子様にご配布しています。ご家庭で携帯電話やパソコンが使用できない場合は、学校（担任）やキガタブ（小中学生のみ）の使用、用紙での回答もできますので、学校（担任）に相談するようお願いいたします。
- ・集計結果を含めた報告書は、市のホームページなどで公表します。

◆本調査に関するお問い合わせ先

＜調査内容に関すること＞

千葉市役所 子ども家庭支援課 電話 043-245-5608
月～金曜日 午前8時30分から午後5時30分

＜キガタブを使った回答・用紙回答の希望に関すること＞

学校または千葉市教育委員会教育支援課 電話 043-245-5935
月～金曜日 午前8時30分から午後5時30分

◆お子様自身が悩みがある時に利用できる相談先

- ・千葉市教育相談ダイヤル
0120-101-830（年中閉休24時間）
- ・中学生「SNS相談のちば」
LINEアプリで専用二次元コード読み取り（年度初めにカードを配布済み）
毎週火曜日・木曜日・日曜日の午後5時～午後9時
- ・千葉市子ども・若者相談センターLink
050-3775-7007（月～金曜日 午前9時～午後5時）
- ・24時間子供SOSダイヤル（文部科学省）
0120-0-78310（年中閉休24時間）
- ・児童相談所相談専用ダイヤル（厚生労働省）
0120-189-783（年中閉休24時間）
- ・子どもの人権110番（法務省）
0120-007-110（月～金曜日8時30分から午後5時15分）

II. 小学生向け調査依頼文

「小学生の生活実態に関するアンケート調査」
ご協力をお願い

このアンケート調査は、みなさんの学校や家庭の中で抱える悩みや困りごとなどを調べて、みなさんの生活や学びをより豊かにするしくみをつくることに役立てるためのアンケートです。みなさんの声を多く集めて、千葉市の子どもたちが明るく笑顔で過ごせるまちになるために向が必要が響く材料になります。そのため、みなさんご協力をお願いいたします。調査したことや回答しなかったことが学校の成績に影響したり成績しなくなったことなどはまったくありません。また、あなたの回答内容を先生が見ることはなく、誰が回答したのか分からないようにしてあるので、安心して回答してください。ぜひ調査へのご協力ををお願いします。

◆**回答URL** <https://www.city.chiba.jp/s.php?ja=ehh-28>

※ **各朝4年2月7日（月）までに回答してください。**

◆**◇回答にあたってのお願い◇**

- ・回答するために手助けが必要な場合は、保護者や先生に相談してください。
- ・調査は携帯電話やパソコンなどを使って、インターネット上で回答してください。2次元コードを読み取るか、URLを入力して、回答ページへ入ってください。携帯電話やパソコンが使用できない場合は、キガタブも使えますので先生に相談してください。
- ・答えにくい質問は、無理に回答する必要はありません。
- ・回答は、当ではまる番号を並べ替える場合と、具体的な内容を「入力」する場合があります。質問文の注釈書きを読んでから回答してください。
- ・途中でやめて、時間が経ってから回答することはできませんので、1回で最後まで回答してください。
- ・アンケートにかかる時間は 10～15分くらいです。

◆**分からないことがあったら**
 <調査の日程について>
 ・千葉市総務こども家庭支援課 電話 043-245-6608
 月～金曜日 午前8時30分から午後5時30分
 <キガタブ等の回答方法について>
 ・各学校
 ・千葉市教育委員会教育支援課 電話043-245-5935
 月～金曜日 午前8時30分から午後5時30分

◆**家族のお世帯などについて、悩みがある時に利用できる相談先**

- ・千葉市教育相談ダイヤル
0120-101-830（年中無休24時間）
- ・千葉市子ども・若者相談センターLink
050-3775-7007（月～金曜日 午前9時～午後5時）
- ・24時間子供SOSダイヤル（文部科学省）
0120-0-78310（年中無休24時間）
- ・児童相談所相談専用ダイヤル（厚生労働省）
0120-189-783（年中無休24時間）
- ・子どもの人権110番（法務省）
0120-007-110（月～金曜日8時30分から午後5時15分）

Ⅲ. 中高生向け調査依頼文

**「中高生の生活実態に関するアンケート調査」
ご協力をお願いします**

このアンケート調査は、みなさんの学校や家庭の中で描える悩みや盛りごなどを調べ、みなさんの生活や学びをより豊かにするしくみをつくることに役立てるためのアンケートです。みなさんの声を多く集めて、千葉市の子どもたちが明るく支願すごせるまちになるために間が必要か考える材料にします。そのため、みなさんのご協力をぜひお願いします。回答したことや回答しなかったことが学校の成績に影響することはありませんし、あなたに不利益はまったくありません。また、あなたの回答内容を発注が見ることはなく、あなたの回答が特定されたりすることもありませんので、安心して回答してください。ぜひ調査へのご協力をお願いします。

◆**回答URL** <https://wsurvey.jp/shape?se=shb-28>



◆**調査の締切** 令和4年2月7日(月)

◆**本調査に関するお問い合わせ先**

<調査の内容について>

- ・千葉市役所 ことども支援部課 電話 043-245-5608
月～金曜日 午前8時30分から午後5時30分
- <キガタブ等での回答方法について>
- ・各学校
- ・千葉市教育委員会 教育支援課 電話043-245-5935
月～金曜日 午前8時30分から午後5時30分

◆**家族のお世帯などについて、悩みがある時に利用できる相談先**

- ・千葉市教育相談ダイヤル
0120-101-830 (年中無休24時間)
- ・中高生「SNS相談おちば」LINEアプリで専用二次コード読み取り(年度初めにカードを配布済みです)
毎週火曜日・木曜日・日曜日の午後5時～午後9時
- ・千葉市子ども・若者相談センターLink
050-3775-7007 (月～金曜日 午前9時～午後5時)
- ・24時間子供SOSダイヤル(文部科学省)
0120-0-78310 (年中無休24時間)
- ・児童相談所相談専用ダイヤル(厚生労働省)
0120-189-783 (年中無休24時間)
- ・子どもの人権110番(公益財団)
0120-007-110 (月～金曜日8時30分から午後5時15分)

IV. 小学生向け調査票

「令和3年度小学生の生活実態に関するアンケート調査」

I. 基本情報

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 男 2. 女 3. その他

問2 あなたが通っている学校はどちらにありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 中央区 2. 花京川区 3. 稲毛区 4. 若葉区 5. 緑区 6. 美浜区

問3 あなたが一緒に住んでいるのは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. お母さん 4. おじいさん 7. その他 ()
 2. お父さん 5. 兄・姉 () 父
 3. おばあさん 6. 弟・妹 () 父

問4 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. よい 3. ふつう 5. よくない
 2. まあよい 4. あまりよくない

II. ふだんの生活について

問5 あなたは学校を欠席したり、遅刻や早退をしたりすることがありますか。

① 欠席について (あてはまる番号1つに○)

1. ほとんど欠席しない 2. たまに欠席する 3. よく欠席する

② 遅刻や早退について (あてはまる番号1つに○)

1. ほとんどしない 2. たまにする 3. よくする

問6 放課後、読い事などをしていますが。(あてはまる番号1つに○)

1. はい 2. いいえ

問7 ふだんの学校生活などにおいて、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 授業中に寝てしまうことが多い 7. 保健室で過ごすことが多い
 2. 宿題ができていないことが多い 8. 学校では一人で過ごすことが多い
 3. 持ち物の忘れ物が多い 9. 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない
 4. 読い事を読むことが多い 10. 特にない
 5. 提出物を出すのが遅れることが多い
 6. 校外学習や遠泊行事を欠席する

問8 あなたが悩んでいることはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友だちのこと 5. 生活や勉強に必要なお金のこと
 2. 学校の成績のこと 6. 自分のために使える時間が少ないこと
 3. 読い事のこと 7. その他 ()
 4. 家族のこと 8. 特にない

問9 「1.～7.」のどれか1つに○をつけて大人にお聞きします。

問9 Oをつけた悩みについて、語を聞いてくれる人はいいますか。

(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない 3. 聞はしたくない

III. 家庭や家族のことについて

問10 家族の中にあなたがお世話をしている人はいいますか。(あてはまる番号1つに○)
 ※ここでの「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世帯のことです。

1. いる ⇒ 問11へ 2. いない ⇒ 問21へ (7ページ)

問10で「1. いる」と答えた人にお聞きします。

問11 あなたは誰に、どのようなお世帯をしていますか。

① あなたがお世帯をしている人 (あてはまる番号すべてに○)

1. お母さん-②-1へ 3. おばあさん-②-2へ 5. 兄・姉は-②-3へ
 2. お父さん-②-1へ 4. おじいさん-②-2へ 6. その他 ()
 -②-4へ

② お世話を必要としている人の状況について教えてください。

②-1 お母さんやお父さんのお世話しているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 7. 依存症 (お酒やタバコやギャンブルなどをやめられず、生活に問題を招いている) ※疑い含む |
| 2. 介護 (食事や身の回りの世話) が必要 | 8. 「6.」や「7.」以外の病変 |
| 3. 認知症 | 9. 日本語が苦手 |
| 4. 身体障がい | 10. その他 () |
| 5. 知的障がい | 11. わからない |
| 6. ころろの病変 (うつ病など) ※疑い含む | |

②-2 おばあさんやおじいさんのお世話しているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 7. 依存症 (お酒やタバコやギャンブルなどをやめられず、生活に問題を招いている) ※疑い含む |
| 2. 介護 (食事や身の回りの世話) が必要 | 8. 「6.」や「7.」以外の病変 |
| 3. 認知症 | 9. 日本語が苦手 |
| 4. 身体障がい | 10. その他 () |
| 5. 知的障がい | 11. わからない |
| 6. ころろの病変 (うつ病など) ※疑い含む | |

②-3 兄弟姉妹のお世話しているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 若い | 5. 病変 |
| 2. 介護 (食事や身の回りの世話) が必要 | 6. 日本語が苦手 |
| 3. 身体障がい | 7. その他 () |
| 4. 知的障がい | 8. わからない |

3

②-4 その他の人のお世話しているのはどのような理由ですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 高齢 (65歳以上) | 8. 依存症 (お酒やタバコやギャンブルなどをやめられず、生活に問題を招いている) ※疑い含む |
| 2. 若い | 9. 「7.」や「8.」以外の病変 |
| 3. 介護 (食事や身の回りの世話) が必要 | 10. 日本語が苦手 |
| 4. 認知症 | 11. その他 () |
| 5. 身体障がい | 12. わからない |
| 6. 知的障がい | |
| 7. ころろの病変 (うつ病など) ※疑い含む | |

③ あなたはどのようなお世話をしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯) | 7. 見守り |
| 2. 兄弟姉妹のお世話や送り迎え | 8. 通訳 (日本語や手話など) |
| 3. 入浴やトイレのお世話 | 9. お金の管理 |
| 4. 買い物や散歩と一緒に行く | 10. 薬の管理 |
| 5. 病院と一緒に行く | 11. その他 () |
| 6. 話を聞く | |

④ あなたはお世話を誰と一緒にしていますか。(あてはまる番号すべてに○)

(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|----------|------------------------|
| 1. お母さん | 6. しんせきの父 |
| 2. お父さん | 7. 自分のみ |
| 3. おばあさん | 8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用 |
| 4. おじいさん | 9. その他 () |
| 5. 兄弟姉妹 | |

⑤ あなたは何年からお世話をしていますか。

(はつきりとわからない場合は、だいたいの年がかまいません)

() 年から

4

⑥ あなたはどのくらいお世話をしていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日 3. 週に1~2日 5. その他()
 2. 週に3~5日 4. 1か月に数回

⑦ あなたは平日の通勤からのお世話をしていますか。(日によって選ぶ場合は、この1か月でいちばん多かった日の頻度を教えてください)

1日() 通勤くらい

問12 お世話をしていることで、以下のような経験をされたことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校を休んでしまう 6. 話し事ができない
 2. 遅刻や早退をしよう 7. 自分の頻度が変わらない
 3. 通勤など勉強する時間が少ない 8. その他()
 4. 通勤時間がたりにない 9. 特にない
 5. 友だちと遊ぶことができな

問13 お世話をすることに大変さを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 体力の面で大変 3. 時間の余裕がない
 2. 気持ちの面で大変 4. 特に大変さは感じていない



問14 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒ 問15へ 2. ない ⇒ 問17へ

問14で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

問15 それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、兄弟姉妹) 6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
 2. しんせき(おじ、おばなど) 7. 病院・医療・福祉サービスの人
 3. 友だち 8. 近所の人
 4. 学校の先生(保健室の先生以外) 9. SNS上での知り合い
 5. 保健室の先生 10. その他()

問14で「1. ある」と答えた人にお聞きします。

問16 なぜ相談しようとおもいましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 信頼している人だから 5. 共通の趣味があるから
 2. 話を聞いてくれるから 6. 話しやすい場所を貸してくれるから
 3. いつも気にかけてくれるから 7. その他()
 4. 近くににいるから 8. わからな

問14で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

問17 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談するほどの悩みではないから 4. 家族のことを話したくないから
 2. 誰に相談するのがよいか分からないから 5. 相談しても何も変わらないから
 3. 相談できる人がいないから 6. その他()

問14で「2. ない」と答えた人にお聞きします。

問18 あなたがお世話をしている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない

問19 学校や周りの大人にしたいことにはありますか。(あてはまる番号すべてにO)

1. 自分のことについて話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談にのってほしい
3. 家族の消費や権利が、お世話のことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分が行っているお世話をすべてを誰かに代わってほしい
5. 自分が行っているお世話を一部を誰かに代わってほしい
⇒具体的にどんなお世話、どんな時ですか ()
6. 自由に使える時間がほしい
7. 勉強を助けてほしい
8. お金の面で支援してほしい
9. その他 ()
10. 持たない
11. わからない

問19で「1. 自分のことについて話を聞いてほしい」「2. 家族のお世話について相談にのってほしい」と答えた人にお聞きします。

問20 どのような方法で話を聞いたり相談にのったりしてほしいですか。

(あてはまる番号すべてにO)

1. 直接合って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他 ()

問21 子どもの権利条約では自分に関係のあることについて、自分の意見を表す権利があることされています。あなたがつらく困った時には、家族や先生、友だちなどに、我慢せずにあなたの意見を言っていますか。(あてはまる番号1つにO)

1. 言えている
2. まあまあ言えている
3. あまり言えていない
4. 言えていない
5. つらく困ったことはない
6. わからない

問22 家族のお世話をしている子どものために必要だと思うことや、学校や周りの大人にしてみたいことを自由に書いてください

家族のお世話をすることは、とても価値のある大切なことです。ただ、お世話を負担が大きいと気持ちや体力の面で大変な思いをすることがあるかもしれません。あなた自身、あるいは友だちなどで、家族のお世話をすることで悩みや心配なことがある場合には、学校の先生やスクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーへ相談してください。また、調査の説明文に記した相談先についても連絡してください。アンケートにご協力いただき、どうもありがとうございます。

V. 中高生向け調査票

「令和3年度 中高生の生活実態に関するアンケート調査」

1. 基本情報

問1 あなたの学年を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 中学2年生

2. 高校1、2年生

問2 あなたの性別を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. 男性

2. 女性

3. その他

問1で「1. 中学2年生」と回答した方にお聞きします。

問3 現在通っている学校はどちらにありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 中央区

2. 花見川区

3. 梅毛区

4. 若葉区

5. 緑区

6. 美浜区

問4 現在一緒に住んでいる家族について教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 母親

4. 祖父

7. その他 ()

2. 父親

5. 兄・姉 () 父

8. 兄弟 () 父

3. 祖母

6. 弟・妹 () 父

問5 あなたの健康状態について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. よい

3. どちら

5. よくない

2. まあよい

4. あまりよくない

II. ふだんの生活について

問6 学校への通学状況等について教えてください。(あてはまる番号1つに○)

① 出席状況

1. ほとんど欠席しない

2. たまに欠席する

3. よく欠席する

② 遅刻や早退の状況

1. ほとんどしない

2. たまにする

3. よくする

問7 部活動(学校外での活動を含む)に参加していますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 参加している

2. 参加していない

問8 ふだんの学校生活等において、以下の中であてはまるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 授業中に眠りすることが多い

6. 校外学習や自治行事を欠席する

2. 通学や課題ができていないことが多い

7. 保健室で過ごすことが多い

3. 持ち物の忘れ物が多い

8. 学校では1人で過ごすことが多い

4. 部活動や話し事を探ることが多い

9. 友人と遊んだり、おしゃべりしたりする時間が少ない

5. 提出しなければいけない書類などの提出が滞ることが多い

10. 特になし

Ⅲ. 家庭や家族のことについて

問11 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(あてはまる番号1つに○)
※この質問での「お世話」とは、単業^{たんごう}本人^{じん}が行うと想われている事や家族の世話をすることです。

1. いる ⇒ 問12へ 2. いない ⇒ 問22へ (9ページ)

問11で「1. いる」と回答した方にお聞きします。

問12 お世話の状況^{じやうきょう}について教えてください。お世話を必要としている方が複数いる場合はすべての方についてお答えください。

① お世話を必要としている方 (あてはまる番号すべてに○)

1. 母親	3. 祖母	5. 兄弟姉妹
2. 父親	4. 祖父	6. その他

② お世話を必要としている方の状況を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 高齢 (65歳以上)	7. 精神疾患 (疑い含む)
2. 知的障害	8. 依存症 (アルコール依存症、ギャンブル依存症など) (疑い含む)
3. 媒介者 (介護が必要な状態)	9. 「7. 精神疾患」や「8. 依存症」以外の病気
4. 認知症	10. その他 ()
5. 身体障がい	
6. 知的障がい	

問9 現在、福んだり困ったりしていることはありませんか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 友人との関係のこと	8. 自分と家族との関係のこと
2. 学業成績のこと	9. 家族内の人間関係のこと (両親の中が良くないなど)
3. 進路のこと	10. 将来や障がいのある家族のこと
4. 部活動のこと	11. 自分のために使える時間が少ない お金のこと
5. 学費 (授業料) など学校生活に必要な お金のこと	12. その他 ()
6. 塾 (通信含む) や習い事ができない	13. 特になし
7. 家庭の経済的状況のこと	

問9で「1. ～12.」のいずれかを回答した方にお聞きします。

問10 回答した福みや困りことについて、相談に乗ってくれたり、話を聞いてくれる人がいる人かいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 相談相手や話を聞いてくれる人がいる
2. 相談相手や話を聞いてくれる人がいない
3. 相談や話をしたくない



③ あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家事 (食事の準備や掃除、洗濯)	7. 見守り
2. 兄弟姉妹の世話や保健所等への送迎など	8. 通訳 (日本語や手話など)
3. 身体部などが壊入浴やトイレのお世話など)	9. 金銭管理
4. 外出の付き添い (買い物、散歩など)	10. 車の管理
5. 通院の付き添い	11. その他
6. 感情面のサポート (悪口を聞く、話し相手になるなど)	()

④ お世話は誰と行っていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 母親	4. 祖父	7. 自分のみ
2. 父親	5. 兄弟姉妹	8. 福祉サービス (ヘルパーなど) を利用
3. 祖母	6. 結婚の父	9. その他 ()

⑤ お世話はいつから行っていますか、お世話を始めた年齢をお答えください。(はっきりとわからない場合は、だいたいどの年齢でかまいません)

() 歳から

⑥ お世話をしている頻度を教えてください。(あてはまる番号1つに○)

1. ほぼ毎日	3. 週に1~2日	5. その他
2. 週に3~5日	4. 1か月に数回	()

⑦ 平日にお世話はどれくらい行っていますか、時間帯をお答えください。(日によって異なる場合は、この1か月の中で最も多かった日の時間帯をお答えください)

1日 () 時間程度

問13 お世話をしていることで、やりたいけど、できていないことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 学校に行きたくても行けない	7. 進路の変更を考えたを得ない、もしくは進路を変更した
2. どうしても学校を退学・早退してしまう	8. 自分の前向きな行動が取れない
3. 進路をすすめる親や先輩のアドバイスが受けられない	9. その他
4. 進路が十分に取れない	()
5. 友人と遊ぶことができない	10. 特になし
6. 部活や習い事ができない、もしくは辞めざるを得なかった	

問14 お世話をするこにきつきを感じていますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 身体的にきつい	3. 精神的余裕がない
2. 精神的にきつい	4. 特にきつきを感じていない

問15 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを誰かに相談したことはありますか。(あてはまる番号1つに○)

1. ある ⇒ 問16へ 2. ない ⇒ 問18へ

問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問16 それは誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 家族(父、母、祖父母、兄弟姉妹)
2. 親類(おじ、おばなど)
3. 友人
4. 学校の先生(保健室の先生以外)
5. 保健室の先生
6. スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー
7. 医師や看護師、その由病院の人
8. ヘルパーやケアマネ、福祉サービスの人
9. 役所や保健センターの人
10. 近所の人
11. SNS上での知り合い
12. その他

問15で「1. ある」と回答した方にお聞きします。

問17 なぜ相談しようとおもいましたか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 信頼している人だから
2. 話を聞いてくれるから
3. いつか気がかけてくれるから
4. 近くにいるから
5. 共通の趣味があるから
6. 話しやすい語を作ってくれたから
7. その他
8. わからない

問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

問18 相談していない理由を教えてください。(あてはまる番号すべてに○)

1. 誰かに相談するほどの悩みではない
2. 家族の人に相談するような悩みではない
3. 誰に相談するのがよいか分からない
4. 相談できる人が身近にいない
5. 家族のことのため話しにくい
6. 家族のことを知られたくない
7. 家族に対して偏見を持たれたくない
8. 相談しても状況が変わるとは思わない
9. その他

問15で「2. ない」と回答した方にお聞きします。

問19 お世話を必要としている家族のことや、お世話の悩みを聞いてくれる人はいませんか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない

問20 学校や周りの大人に助けてほしいことや、必要としている支援はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい
2. 家族のお世話について相談してほしい
3. 家族の病気や障がい、ケアのことなどについてわかりやすく説明してほしい
4. 自分が行っているお世話のすべてを代わってくれる人やサービスがほしい
5. 自分が行っているお世話の一部を代わってくれる人やサービスがほしい
⇒具体的にどんなお世話、もしくはどんな時ですか
6. 自由に使える時間がほしい
7. 連絡や就労など何某の相談のってほしい
8. 学校の宿題や受験勉強など学習のサポート
9. 家庭への経済的な支援
10. わからない
11. その他
12. 他にない

問20で「1. 自分のいまの状況について話を聞いてほしい」「2. 家族のお世話について相談のってほしい」と答えた方にお聞きします。

問21 どのような方法で話を聞いたか相談のたたりしてほしいですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 直接会って
2. 電話
3. SNS
4. 電子メール
5. その他

千葉県ヤングケアラーに関する実態調査報告書

発行／千葉県子ども未来局子ども未来部

子ども家庭支援課

発行／令和4年3月
